

V. 地域別構想

1. 9地域のまちづくりの将来像

地域別構想は、まちづくりの将来像やまちづくりの目標、全体構想等を踏まえ、「地域ごとの特性や課題に対応したまちづくりの方針」を示します。また、現行計画における施策の状況、住民アンケートの結果や住民ワークショップから得られた意見を参考として、地域別のまちづくりの目標を次のとおりとします。

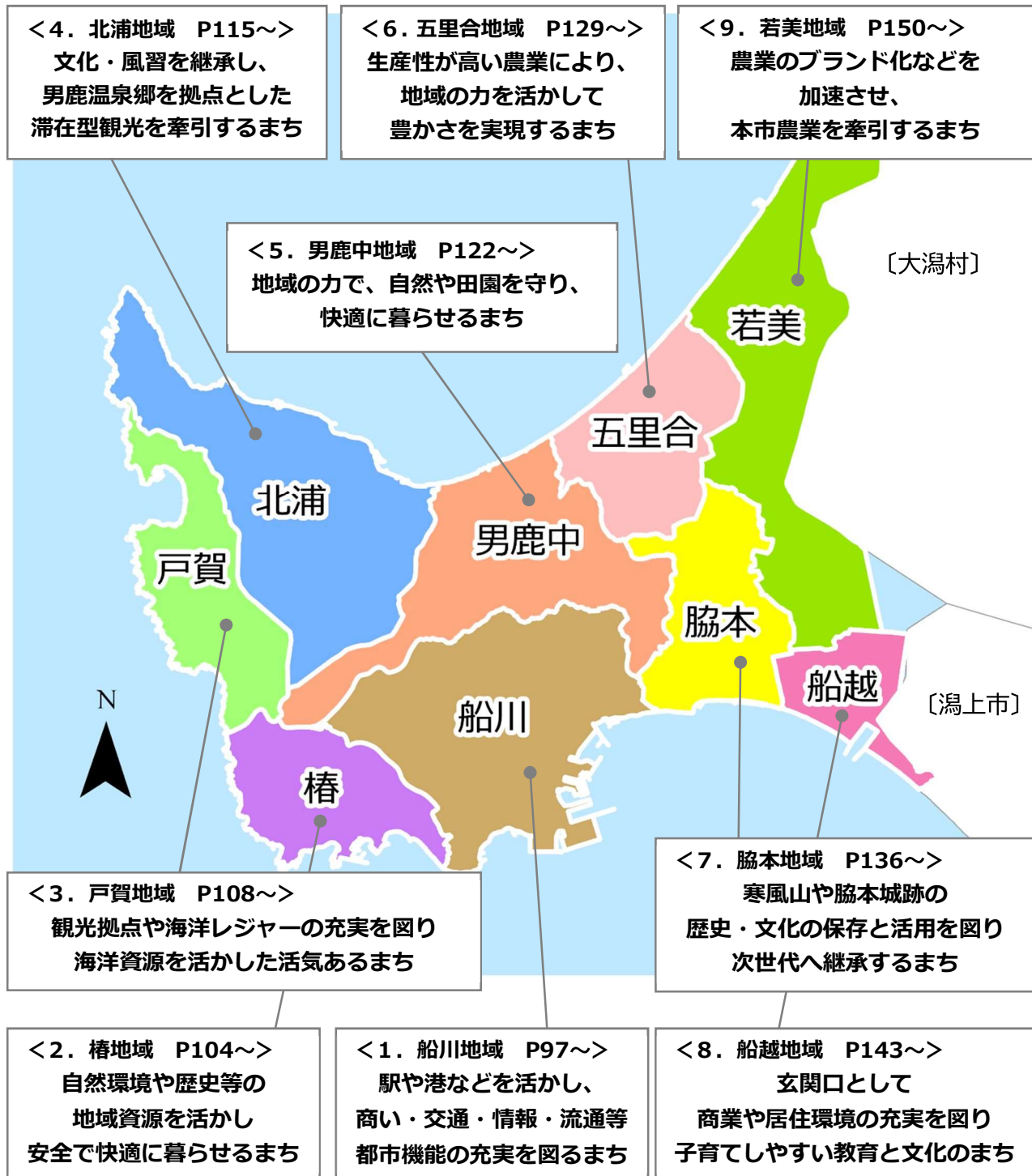


図. 地域別のまちづくり将来像

2-1. 船川地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

船川地域は市庁舎や文化会館、図書館、市民病院、警察署、消防署等の各種公共公益施設が集積しています。また、近年では、道の駅おが・オガーレの整備や男鹿駅周辺の環境整備、空き店舗等でのリノベーションが見られます。加えて、JR 男鹿線の頭端式ホームがある男鹿駅や国道 101 号、半島を周回する県道男鹿半島線が交通軸として交差する要所であり、市の中心拠点に位置づけられています。

市内で最も人口の多い地域ではありますが、男鹿駅周辺の中心市街地では、空き店舗の増加や、宿泊施設の廃業、公共公益施設等の老朽化が見られ、市街地の停滞を打開していくことが必要です。

また、広大な敷地を有する船川港臨海部は、昨今の景気低迷により、新たな企業の進出が進まずに未利用地を多く残しています。

さらに、船川地域の住宅地の多くは、丘陵地に形成されており、木造住宅が密集している地区では狭隘道路、急坂、急カーブ等が多く見られます。



地域名	人口 (人)				人口増減率 (%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船 川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸 賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北 浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男 鹿 中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五 里 合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇 本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船 越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若 美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市 全 体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



道の駅おが・オガーレ (本市 HP)



埋め立てにより整備された船川港 (本市 HP)

■地域内の主な施設

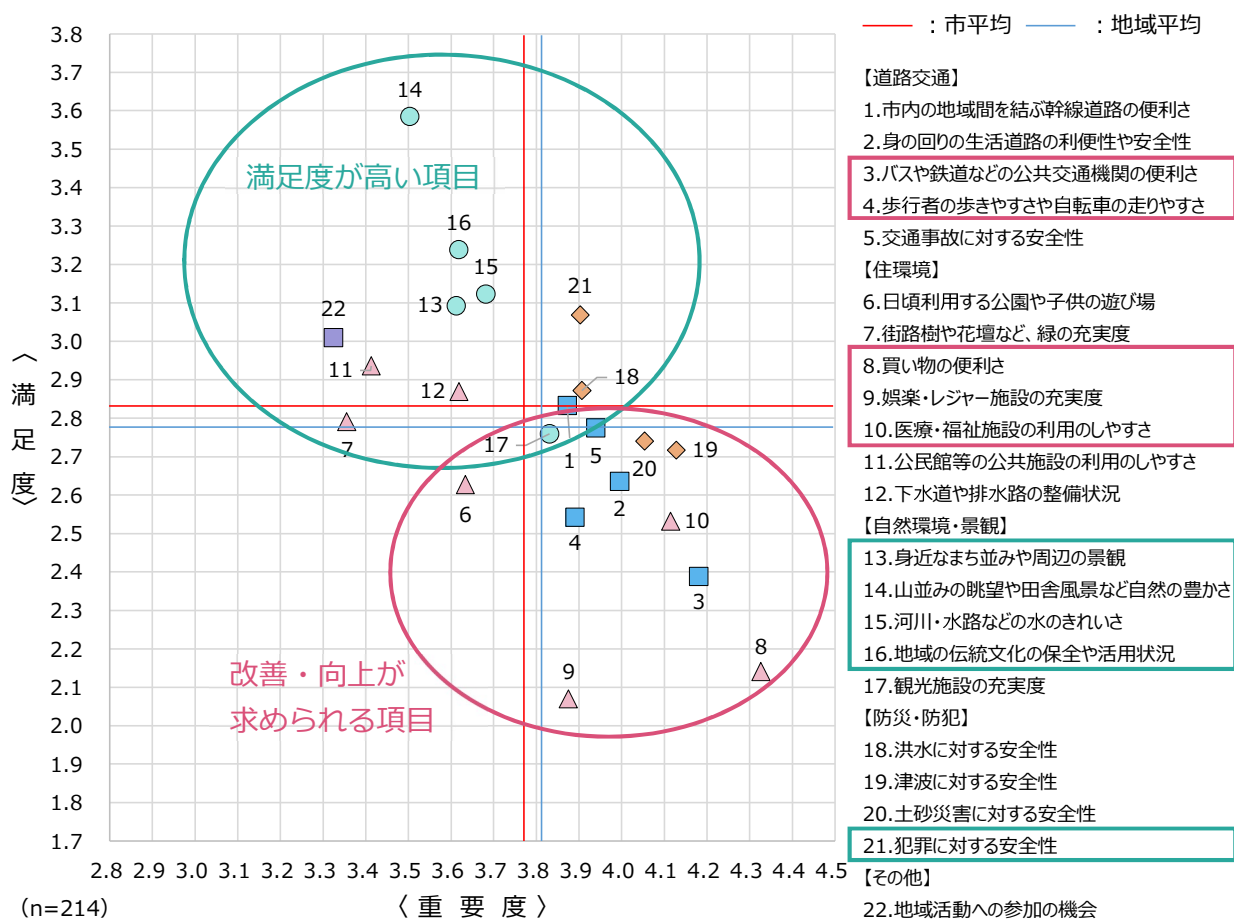
主要道路	国 道	101号	
	県 道	(主) 男鹿半島線	
	市 道 (都) は都市計画道路を示す	(都) 男鹿臨港線、(都) 羽立田中線、(都) 羽立線、(都) 税関通線、(都) 新浜町線、(都) 男鹿駅前通線、(都) 歩行者・自転車専用道1号線、(都) 歩行者・自転車専用道3号線、なまはげライン	
鉄道駅	JR 男鹿線男鹿駅、JR 男鹿線羽立駅		
公 園	都市計画公園	運動公園	男鹿総合運動公園
		近隣公園	金川近隣公園
		街区公園	泉台街区公園、西ヶ丘街区公園、羽立街区公園、金川街区公園、金川台街区公園、馬生目街区公園、仁井山街区公園、芦沢南街区公園
	その他の公園	北町児童遊園、曙町児童遊園、汐見ヶ丘児童遊園、緑ヶ丘児童遊園、船川港湾公園、船川ふれあい公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚水	男鹿市公共下水道	
	雨水	上金川雨水幹線、保量川雨水幹線、外ヶ沢雨水幹線、船川雨水幹線	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	男鹿市役所、男鹿市立図書館、男鹿市保健福祉センター、船川港公民館、船川北公民館、男鹿警察署、男鹿地区消防本部・男鹿地区消防署、船川港湾事務所		
教育施設	男鹿海洋高等学校、男鹿南中学校、船川第一小学校、船川保育園		
文化施設	男鹿市民文化会館、市民ふれあいプラザハートピア		
公営住宅等	姫ヶ沢・泉台団地、増川団地、越名坂団地、柳沢団地		
体育施設	OGA マリンパーク球技場、サンワーク男鹿		
その他施設	男鹿みなと市民病院、船川港、市場		
主な観光施設	道の駅おが・オガーレ、男鹿マリーナ、鶴ノ崎海岸		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について（問2）

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と比べて低い』傾向が見られます。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 3位：15.河川・水路などの水のきれいさ 4位：13.身近なまち並みや周辺の景観 5位：21.犯罪に対する安全性
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 2位：8.買い物の便利さ 3位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 4位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ 5位：4.歩行者の歩きやすさや自転車の走りやすさ



凡例 ■1-5：道路交通、▲6-12：住環境、●13-17：自然環境・景観、◆18-21：防災・防犯
■22：その他

図. 日常生活における満足度・重要度（船川地域）

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

市全体と概ね同様ですが、『買い物不便』が、課題として強い傾向です。

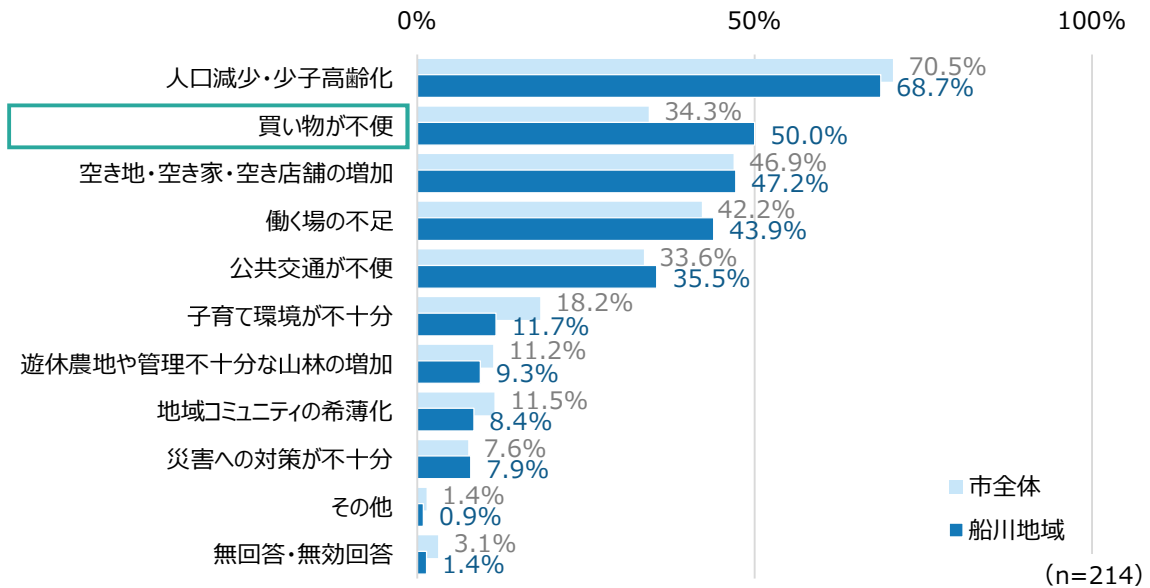


図. まちづくりの課題と感ずること（船川地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

市全体と同様に参加意向ありが半数以上を占め、『まちづくりへの参加意向が比較的高い地域』であると考えられます。

一方、全市に比べ“興味がない・あまり関わりたくない”が 3.2 ポイント高くなっています。

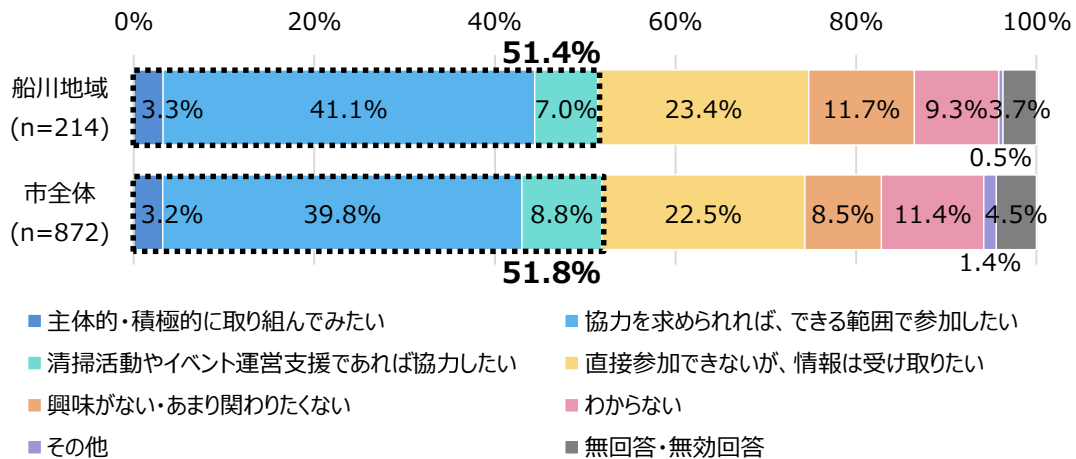


図. まちづくり活動等への参加意向（船川地域）

3) 地域の主な課題

- 図書館や公民館等の公共公益施設が集積するものの、老朽化が進んでおり、将来のあり方についての検討が必要です。また、都市施設の適切な維持管理が求められます。
- 男鹿駅周辺は、道の駅おが・オガーレの整備やみなとオアシスおがの形成、リノベーション事業が見られます。今後、滞在型観光地を目指した交流促進や宿泊施設の需要への対応、観光振興に寄与する中心市街地としての活性化が求められます。
- 船川港臨海部は、景気低迷により、新たな企業の進出が進まずに未利用地を多く残しており、活性化のための施策の検討及び有効な土地利用の検討が必要となっています。
- 市内で最も人口の多い地域ではありますが、住宅地の多くは、丘陵地に形成されており、木造住宅が密集している地区では狭隘、急坂、急カーブ等が多いために都市防災の観点からも住環境の改善が課題となっています。

(2) 地域の将来像

駅や港などを活かし、商い・交通・情報・流通等 都市機能の充実を図るまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

中心拠点に位置づけられる船川地域は、中心市街地として商業、文化、交流、情報、交通等の多様な機能の充実を図るとともに、船川港周辺における洋上風力発電関連産業を中心とした流通・供給機能の集積等の促進を図る土地利用を推進します。

<商業・業務地>

▼男鹿駅周辺における「活気あふれる拠点」の形成と発信

男鹿駅や道の駅おが・オガーレ、みなとオアシスおが、リノベーション事業等により、様々なプレイヤーを巻き込みながら、商業・業務施設の整備が進められています。

また、空き店舗の活用支援や子育て支援の充実、公共公益施設の老朽化への対応検討、ユニバーサルデザインに配慮した歩いて暮らせるまちづくり、バスルートの利便性を考慮した交通結節機能の充実を図ります。

なお、男鹿駅周辺を新たな観光拠点として位置づけながら、宿泊施設の誘致を行い、活気あふれる拠点の形成を目指します。

<工業地・流通業務地>

▼船川港周辺における流通業務の整備・充実

▼船川港周辺における洋上風力発電関連産業を中心とした産業集積の促進

船川港は、物流機能やエネルギー備蓄機能を担う重要な港湾であるとともに、クルーズ船の受け入れの推進や、洋上風力発電施設の建設による再生可能エネルギーの製造拠点としての整備・充実を図ります。

また、地元企業の事業参入や企業誘致、洋上風力発電関連資材をはじめとする取扱貨物量の拡大などを中心とした、船川港での産業集積の促進を図ります。

<住宅地>

▼良好な居住環境の維持・保全

本地域は、丘陵地に木造住宅が密集する住宅地が形成されています。今後も、空き地・空き家の情報発信・活用、道路・河川の適切な維持管理を進めながら、自然災害に備えた啓発活動を続け、良好な居住環境の維持・保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	<ul style="list-style-type: none"> ▼男鹿駅における交通結節機能の充実 ▼利便性を考慮したバスルートの検討
住環境・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ▼空き家・空き地・空き店舗の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼道路・河川の適切な維持管理 ▼公共施設へのユニバーサルデザインの導入 ▼男鹿駅前跨線橋のあり方の検討 ▼子育てしやすい環境の整備 ▼船川港公民館や船川北公民館を活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ▼洋上風力発電関連産業を中心とした産業集積の促進 ▼みなとオアシスおが（道の駅おが、男鹿マリーナ、OGA マリンパーク、男鹿市商工会館、男鹿市民ふれあいプラザ等）を核とした交流促進と観光振興 ▼市街地内における観光スポットの賑わい創出 ▼観光案内等の情報発信拠点におけるインバウンド対応の強化 ▼船川地域観光ルート、海上観光等の情報発信の強化
防災・防犯まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ▼自然災害等に備えた啓発活動の実施 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ▼都市施設の整備、維持・管理 ▼金川近隣公園のあり方の検討 ▼重要給水施設配水管の整備 ▼公共下水道、雨水幹線の維持管理 ▼旧ごみ焼却場の解体

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

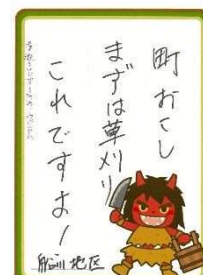
<1回目>

船川は、海・山など自然が身近にあり豊かな地域です。埋立地に、多くの機能が立地し利便性が高く、男鹿駅を中心に賑わいが生まれています。一方、自然等の資源が当たり前になり、活かしきれていません。他にはない魅力「海岸線、身近な自然等」に手を加え、もっと生かすために、話し合うことの大切さを共有しました。



<2回目>

本市の入口として、「美しい景観」を保ち続けたいという意識が大切である、という思いが、『町おこしまずは草刈り これですよ!』という一句に託されています。



3) まちづくりの方針図

<共通項目>

- ・都市計画道路・公園の整備、適切な維持管理
- ・道路・河川の適切な維持管理
- ・重要給水施設、排水管の整備
- ・公共下水道、雨水幹線の維持管理
- ・公共施設へのユニバーサルデザインの導入
- ・利便性を考慮したバスルートの検討
- ・空き家・空き地の情報発信の強化等の検討
- ・自然災害等に備えた啓発活動
- ・観光等情報発信の強化

・旧ごみ焼却場の解体

<公民館>

- ・地域コミュニティの形成と地域活動への支援

丘陵地の閑静な低密度住宅地における良好な居住環境の維持

<金川近隣公園>

- ・金川近隣公園のあり方の検討

<男鹿駅>

- ・男鹿駅を起点とした公共結節機能の充実
- ・活気溢れる拠点形成
- ・男鹿駅前跨線橋のあり方検討

<船川港周辺>

- ・洋上風力発電関連産業を中心とした産業集積の促進

【共通凡例】

◎ 市役所	建物用途
○ 地域コミュニティセンター	住宅系
▲ 子育て施設	商業系
◆ 商業施設	工業系
⊕ 病院	その他
▲ 学校施設	都市計画道路
⊕ 福祉施設	車道
● 文化施設	歩行者・自転車専用道路
■ 体育施設	駅
● 都市計画公園	線路
● 市営住宅	地区界線
● 観光資源	国道
● 行政機能	主要地方道
商業系用途地域	一般都道府県道
工業系用途地域	市道
住居系用途地域	用途地域
	都市計画区域

2-2. 椿地域

(1) 現況と課題

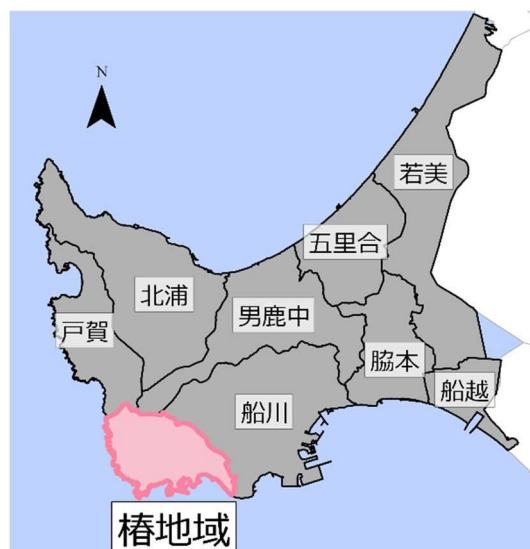
1) 地域の現況

椿地域は、能登山の北限の椿、日本の渚 100 選の鵜ノ崎海岸から門前に至る海岸線と奇岩怪石が織りなす自然の造形美が見られ、男鹿を代表する見どころの一つであるゴジラ岩があります。

また、ナマハゲの起源となった伝説が残る国指定重要文化財赤神神社五社堂などの観光スポット、お山かけの風習があります。

さらに、男鹿半島の西海岸、鵜ノ崎海岸と入道崎灯台を結び、日本の夕陽 100 選の夕陽が沈む海岸線を通る県道男鹿半島線は、“おが潮風街道”として人気です。

一方、本地域の人口は、他地域同様に減少が著しく、少子高齢化が進行しています。また、日用品の買い物や通院などが不便な状況も見られます。



地域名	人口 (人)				人口増減率 (%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



国指定重要文化財赤神神社五社堂
(男鹿なび HP)



門前地区の潮瀬崎のゴジラ岩
(男鹿なび HP)

■地域内の主な施設

主要道路	国 道	-	
	県 道	(主) 男鹿半島線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	双六街区公園、台島街区公園
	その他の公園	門前児童遊園、鵜ノ崎海岸公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	門前地区漁業集落排水施設	
	雨 水	-	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	樺コミュニティセンター、秋田県水産振興センター		
教育施設	-		
文化施設	-		
公営住宅等	-		
体育施設	-		
その他施設	樺漁港、門前漁港		
主な観光施設	鵜ノ崎海岸、能登山の「北限の樺」、ゴジラ岩、門前のなまはげ立像、赤神神社五社堂、白糸の滝		

2) 住民アンケートの結果

* 樺地域の結果は、船川地域に含まれるため、P99-100 を参照のこと。

3) 地域の主な課題

○ 樺地域は、日本の渚 100 選の鵜ノ崎海岸や、ナマハゲの起源となった伝説が残る国指定重要文化財赤神神社五社堂などの観光資源があり、維持管理や活用が求められます。

○ 日用品の買い物や通院などが不便な状況も見られることから、公共交通の維持・充実を図るなど、利便性の向上が求められます。

○ 安心・安全で、良好な居住環境の形成が求められます。

(2) 地域の将来像

**自然環境や歴史等の地域資源を活かし
安全で快適に暮らせるまち**

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

樺地域は、鶴ノ崎海岸や赤神神社五社堂などの地域資源があります。海岸線等の自然環境や歴史景観の保全・活用を図りながら、安全で快適な居住環境の保全に向けた土地利用を推進します。

<住宅地>

▼地域コミュニティの充実と安心・安全に暮らせる居住環境の保全

本地域は、海岸線沿いに市街地が形成されています。今後も地域コミュニティの充実を図りながら、津波災害や土砂崩れに対する備えを意識し、生活基盤施設の維持管理や空き地・空き家の情報発信・活用等、安心・安全に暮らせる居住環境の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	▼公共交通機関の維持・充実
住環境 ・市街地整備	▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼老朽化した空き家への対策（利活用推進、解体補助等） ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援 ▼道路・河川の適切な維持管理
地域資源の 保全・活用	▼鶴ノ崎海岸、赤神神社五社堂、門前等観光スポットの充実 ▼鶴ノ崎海岸から門前に至る海岸線の維持・保全 ▼能登山の北限の樺の保存・継承
防災・防犯 まちづくり	▼土砂崩れに対する点検・整備 ▼津波災害に備えた対策の強化 ▼迅速な避難への啓発活動 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼都市施設の維持管理

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

<1回目>

食資源が豊富で、駅や病院も比較的近い、静かで過ごしやすい地域です。また、赤神神社五社堂、鶴ノ崎海岸など、観光スポットも多くみられます。豊かな自然環境を活かし、都市インフラ整備、働く場を増やし、樺で獲れる鯛のブランド化を図るなど、住む人・来る人を増やしたいという声が聞かれました。



<2回目>

撮影スポットや釣り情報の提供、地域のごみ拾い等で景観向上を図ることから始める意識が大切である、という思いから、『旅人よ こぞりて樺の 民となれ』という一句に託されています。



3) まちづくりの方針図



2-3. 戸賀地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

戸賀地域は二ノ目潟や三ノ目潟等の火山湖、戸賀湾内で日本海に突き出すように立地する男鹿水族館 GAO 等多くの観光スポットが海岸沿いに点在しており、市内でも有数の景勝地となっています。また、有数のダイビングスポットとしても注目されており、市外・県外からの移住者もいます。

一方、急峻な地形条件のもとに住宅地が形成される居住環境となっています。

また、本地域の人口は、他地域同様に減少が著しく、少子高齢化が進行しています。



地域名	人口(人)				人口増減率(%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
樺	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲8.3	▲6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



観光スポットになっている
男鹿水族館 GAO (男鹿なび HP)



絶壁と大海原の絶景
西海岸の海岸線 (男鹿なび HP)

■地域内の主な施設

主要道路	国 道	-	
	県 道	(主) 男鹿半島線、(一) 入道崎八望台北浦線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	戸賀街区公園
	その他の公園	戸賀湾展望公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚水	-	
	雨水	-	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	戸賀コミュニティセンター		
教育施設	-		
文化施設	-		
公営住宅等	戸賀団地		
体育施設	-		
その他施設	戸賀港、加茂漁港、国保戸賀出張診療所、加茂青砂へき地出張診療所		
主な観光施設	男鹿水族館 GAO、カンカネ洞、八望台展望台		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について (問2)

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と同程度』であることが分かります。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：22.地域活動への参加の機会 3位：11.公民館等の公共施設の利用しやすさ 4位：13.身近なまち並みや周辺の景観 5位：1.市内の地域間を結ぶ幹線道路の便利さ
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：8.買い物の便利さ 2位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ 3位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 3位：20.土砂災害に対する安全性 5位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場 5位：19.津波に対する安全性

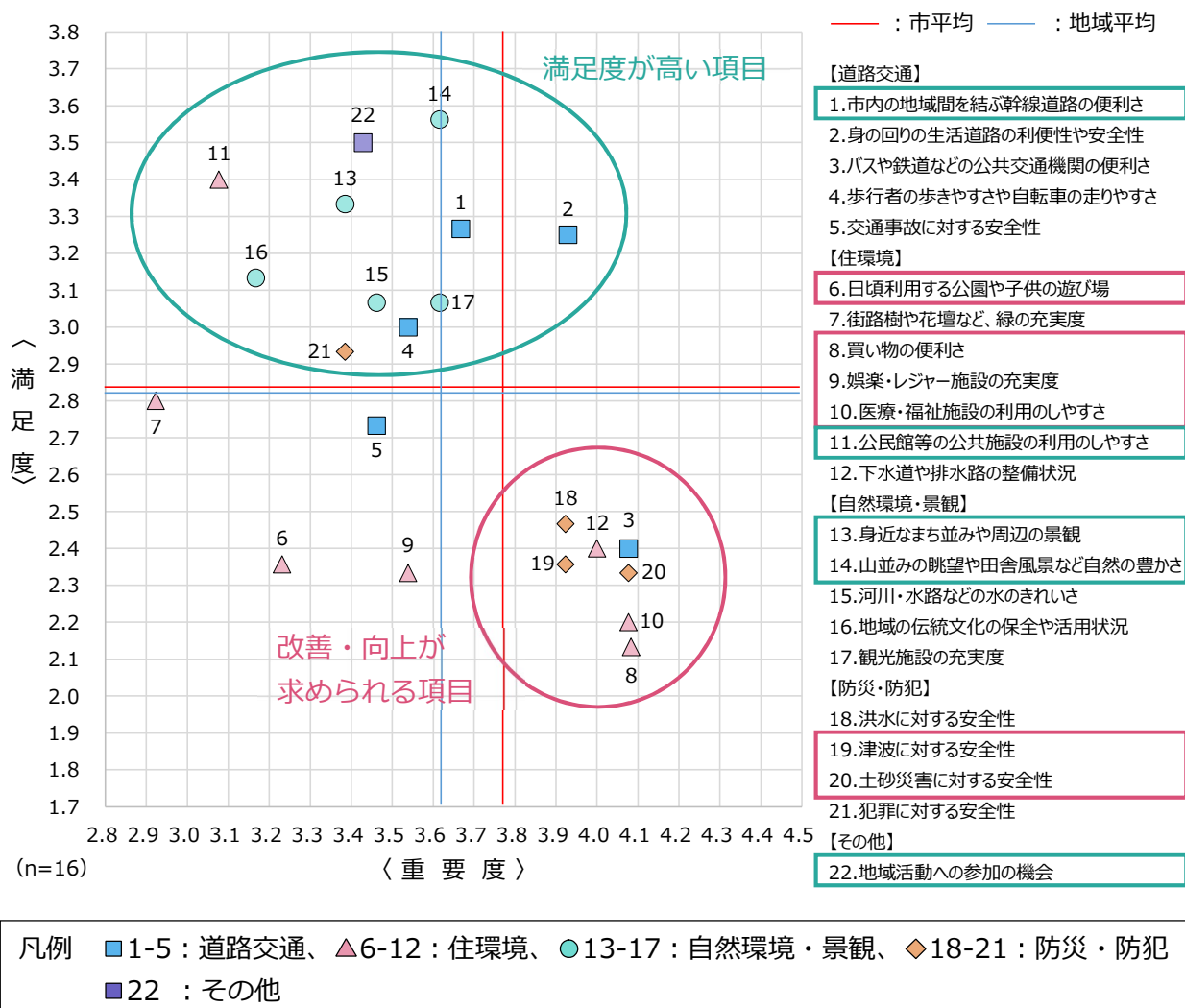


図. 日常生活における満足度・重要度 (戸賀地域)

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

全市に比べ『空き地・空き家・空き店舗の増加』や『働く場の不足』、『遊休農地や管理不十分な山林の増加』などが課題として強い傾向です。

一方、全市に比べ『買い物が不便』、『公共交通が不便』、『地域コミュニティの希薄化』、『災害への対策が不十分』などは課題として低い傾向です。

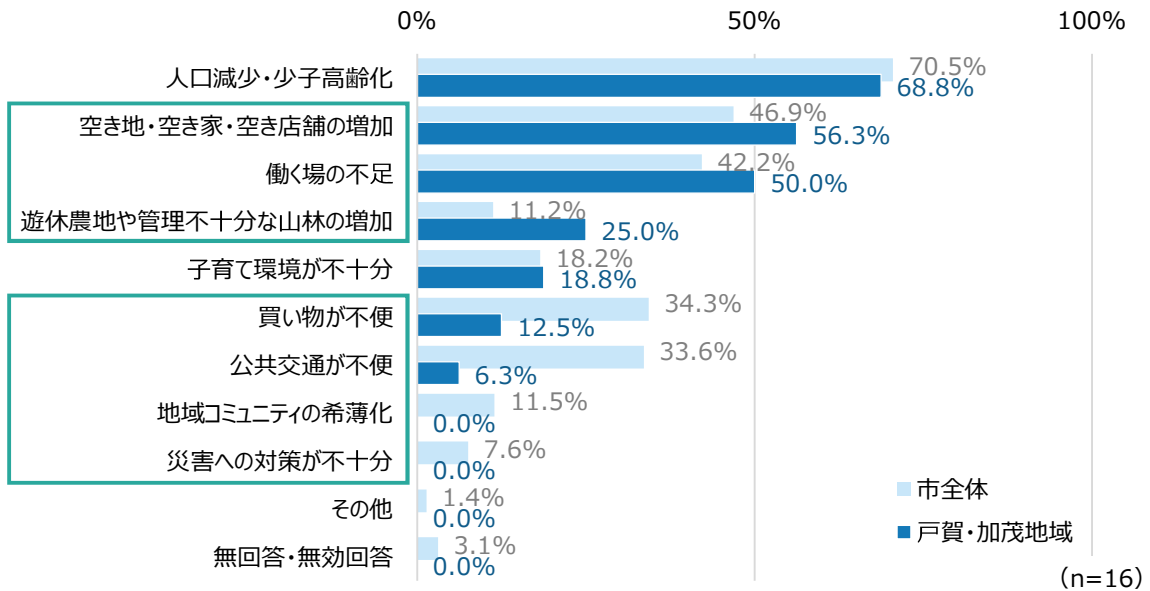


図. まちづくりの課題と感ずること（戸賀地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

全市に比べ参加意向ありが 17.0 ポイント高く、『まちづくりへの参加意向が高い地域』であると考えられます。

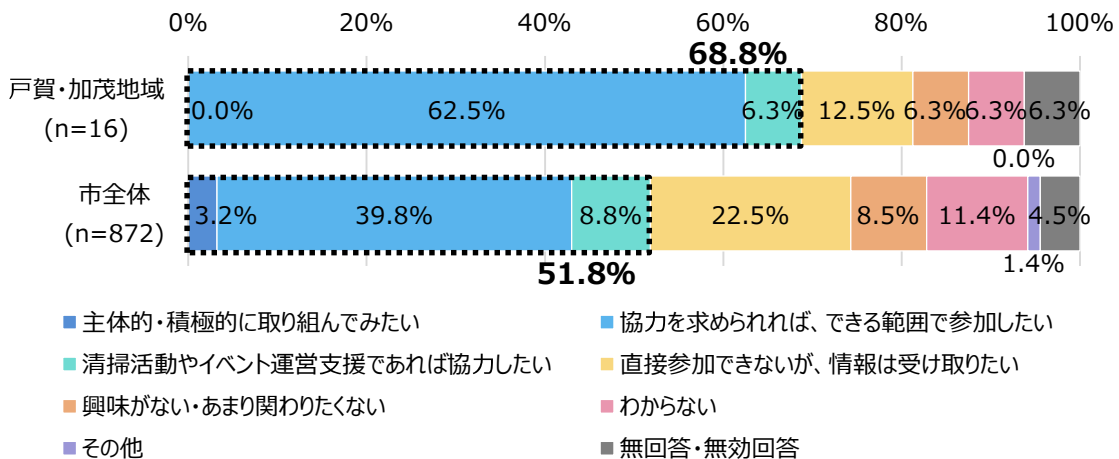


図. まちづくり活動等への参加意向（戸賀地域）

3) 地域の主な課題

- 戸賀地域には、二ノ目潟や三ノ目潟等の火山湖、水族館やダイビングスポットなどが点在しており、海洋レジャーの推進やPR強化が求められます。
- 診療所の維持や買い物、交通等の日常的な利便性の向上が課題です。
- 急峻な地形条件のもとに住宅地が形成されているため、防災体制の強化・徹底、道路機能の維持や防災機能の向上による安心・安全な居住環境の形成が求められます。

(2) 地域の将来像

観光拠点や海洋レジャーの充実を図り 海洋資源を活かした活気あるまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

戸賀地域は、豊かな自然環境や、水族館、西海岸クルーズ等の海洋レジャーを活かした観光拠点の形成を図るとともに、急峻な地形条件に対応した安全で快適な居住環境の形成を図る土地利用を推進します。

<商業・業務地>

▼海洋資源を活かした産業振興拠点の形成

水産資源培養型基地として試験養殖がおこなわれている戸賀港や男鹿水族館 GAO など、海洋レジャーを活かした産業振興拠点としての形成を図ります。

<住宅地>

▼地域コミュニティの充実と安心・安全に暮らせる良好な居住環境の保全

急峻な地形と狭隘道路等、地域固有の居住環境が見られる中で、地域コミュニティの充実を図りながら、空き地・空き家の情報発信や土砂崩れや津波災害に備えた対策の強化などにより、安心・安全に暮らせる良好な居住環境の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取り組み

分野	主な取り組み
交通体系	<ul style="list-style-type: none"> ▼門前～戸賀を結ぶ道路機能の維持 ▼高齢者のため（買い物、医療機関等）の公共交通（バス路線）の維持
住環境 ・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼老朽化した空き家への対策（利活用推進、解体補助等） ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ▼海岸線の自然保護と景観維持（海水浴場の維持管理） ▼加茂青砂ふるさと学習施設の活用と維持管理 ▼男鹿水族館 GAO 周辺の海洋レジャーの推進 ▼戸賀港における海上ルートの基点港としての機能の充実 ▼八望台の PR 強化、維持管理 ▼水産資源培養型漁業基地としての養殖産業
防災・防犯 まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ▼土砂崩れに対する点検・整備 ▼津波災害に備えた対策の強化 ▼避難計画の策定及び迅速な避難への啓発活動 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼都市施設の維持管理

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1回目 >

戸賀・加茂は、日本海、男鹿水族館 GAO、カンカネ洞など、観光資源が豊富で、漁業が盛んな地域のため、男鹿でないと味わえない美味しい料理を振舞うことで滞在型観光へのシフトが期待されています。



また、将来にわたって住み続けられる地域にするためには、ネットスーパーの充実、みなと病院への送迎、旧中学校にドクターヘリが発着できるようにするなど、日常生活の利便性向上に関する意見が多く聞かれました。

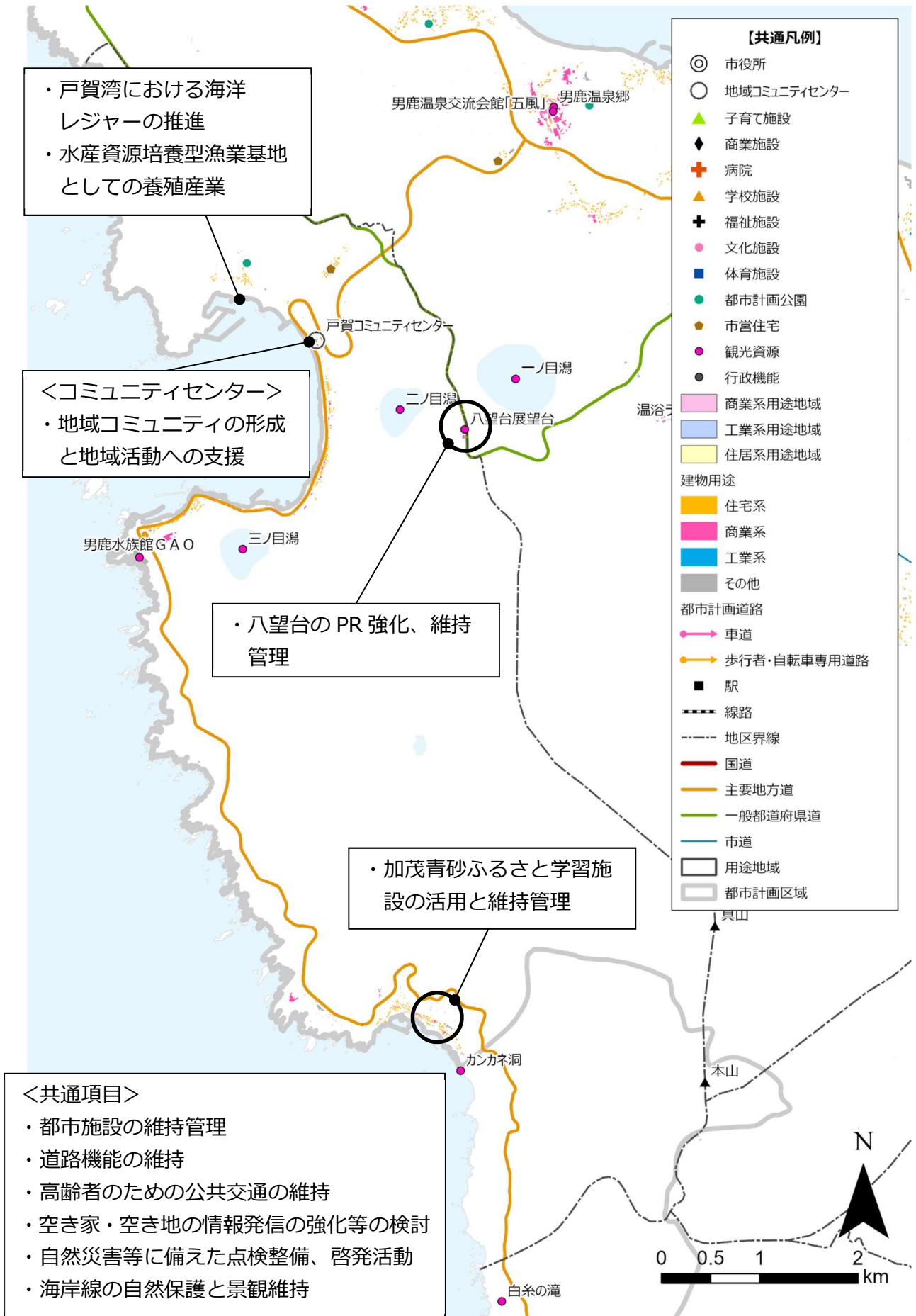
さらに、漁業の後継者不足や漁獲量減少に伴う不安も聞かれました。

< 2回目 >

海水浴場等のクリーンアップなどの環境整備、レンタル釣具、バーベキューハウス等の場所の提供、宿泊サービスやイベント実施等の仕掛けなどを進めながら、『戸賀湾で 見て釣って食す 海の幸』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図



2-4. 北浦地域

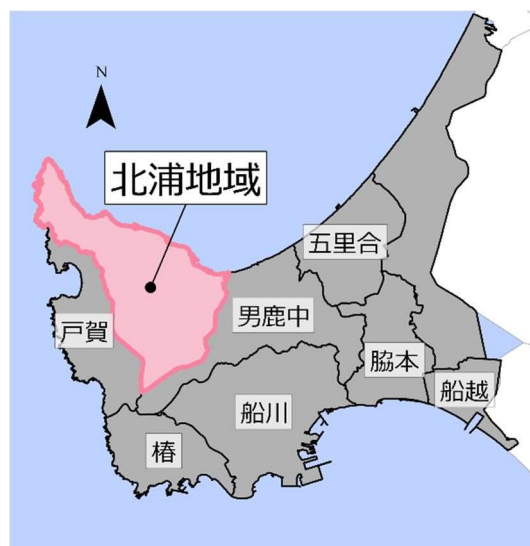
(1) 現況と課題

1) 地域の現況

北浦地域は、大部分が国立公園に指定され、日本の灯台 50 選の灯台がシンボルの入道崎、男鹿温泉郷、なまはげ館、真山伝承館、なまはげオートキャンプ場、お山かけといった市内でも有数の観光スポットが集まっており、毎年多くの観光客が訪れています。近年では、雲昌寺のあじさいやブルーベリー農園なども、男鹿の新たな見どころとなっています。

しかしながら、温泉郷における宿泊者数の減少をはじめ、団体旅行を中心とした旅行形態から、個人・少人数旅行中心へとシフトした消費者ニーズの変化への対応が必要となります。

また、北浦漁港は、船川港に次ぐ 2 番目の水揚量を有しており、ハタハタの水揚げ高は市内の大半を占めていましたが、気候変動等による漁場の変化や後継者不足などが深刻化しています。



地域名	人口 (人)				人口増減率 (%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



北緯 40 度線上の入道崎 (男鹿なび HP)



新たな見どころとして注目を浴びる雲昌寺のあじさい (男鹿なび HP)

■地域内の主な施設

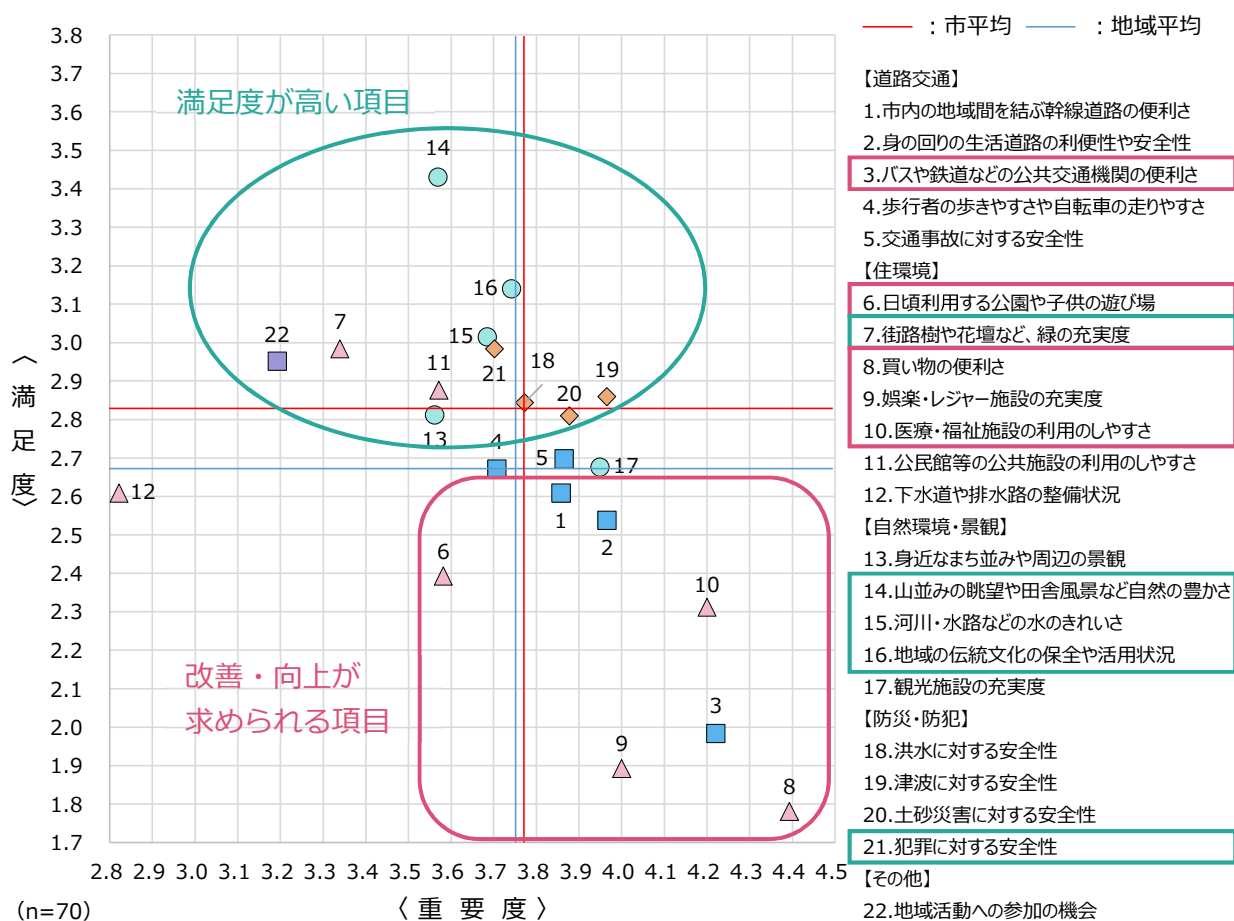
主要道路	国 道	-	
	県 道	(主) 入道崎寒風山線、(主) 男鹿半島線、(一) 入道崎八望台北浦線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	北浦街区公園、新道街区公園、入道崎街区公園、湯本街区公園、西黒沢街区公園、西水口街区公園、相川街区公園
	その他の公園	十二桜森林公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	入道崎地区漁業集落排水施設	
	雨 水	北浦下水路、湯本下水路	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	北浦コミュニティセンター、北浦警察官駐在所、男鹿地区消防署北分署		
教育施設	男鹿市立北陽小学校（令和7年4月統合予定）、北浦保育園		
文化施設	-		
公営住宅等	東山団地		
体育施設	-		
その他施設	北浦漁港、畠漁港、湯之尻漁港、入道崎へき地出張診療所		
主な観光施設	入道崎、なまはげ館、男鹿真山伝承館、里暮らし体験塾、男鹿温泉交流会館「五風」、八望台展望台、温浴ランドおが、なまはげオートキャンプ場、雲昌寺のあじさい、男鹿ぶるーべりーガーデン、西黒沢海岸		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について（問2）

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と比べて低い』傾向が見られます。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 3位：15.河川・水路などの水のきれいさ 4位：7.街路樹や花壇など、緑の充実度 4位：21.犯罪に対する安全性
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：8.買い物の便利さ 2位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 3位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 4位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ 5位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場



凡例 ■1-5：道路交通、△6-12：住環境、●13-17：自然環境・景観、◆18-21：防災・防犯
■22：その他

図. 日常生活における満足度・重要度（北浦地域）

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

市全体の傾向と概ね同様ですが、『買い物不便』が課題として強い傾向です。

一方、全市と比べ『子育て環境が不十分』、『地域コミュニティの希薄化』、『災害への対策が不十分』などは課題として低い傾向です。

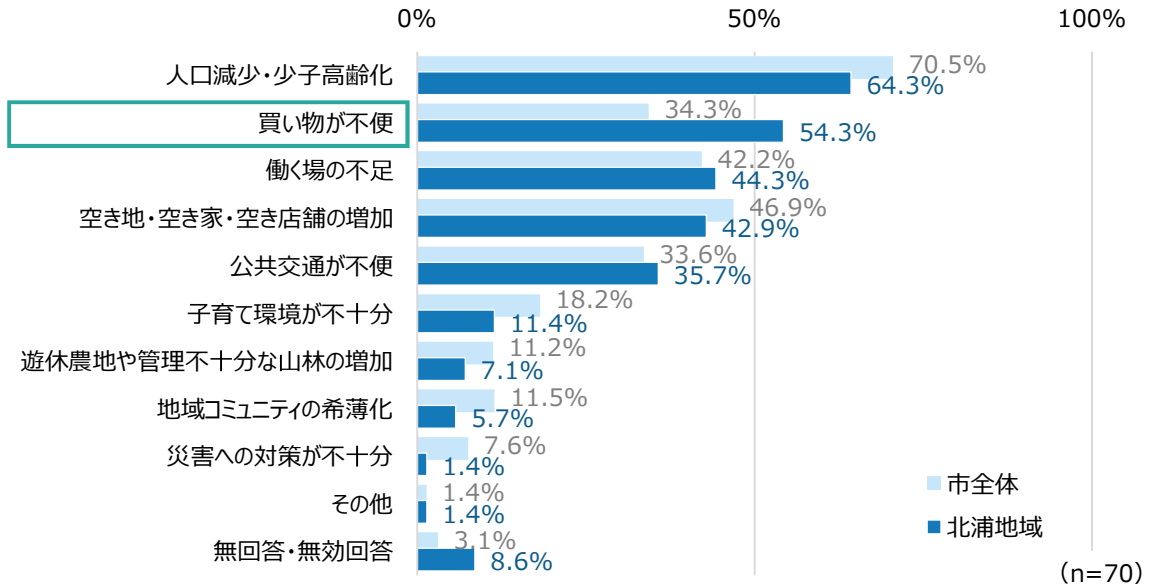


図. まちづくりの課題と感ずること（北浦地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

全市に比べ参加意向ありが 8.9 ポイント低く、“興味がない・あまり関わりたくない”が 8.7 ポイント高いことから『まちづくりへの参加意向が比較的低い地域』であると考えられます。

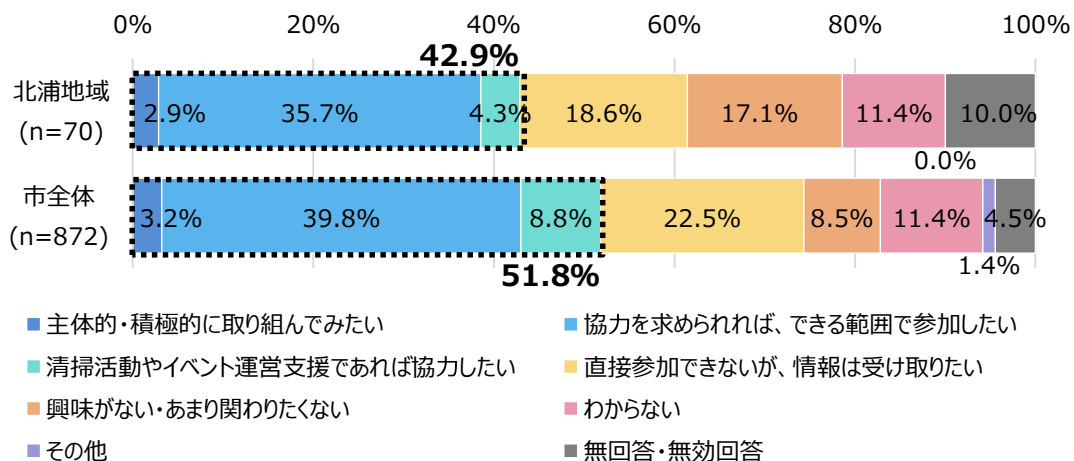


図. まちづくり活動等への参加意向（北浦地域）

3) 地域の主な課題

- 北浦地域では、入道崎や男鹿温泉郷、なまはげ館、雲昌寺のあじさい、ブルーベリー農園など、体験を伴う観光スポットが多く見られるため、これらの維持や磨きあげを行い、本市の滞在型観光を牽引することが求められます。
- 地域の大部分が国定公園に指定され、一ノ目湯水源もあるため、自然環境の維持・保全が求められています。
- 公共交通機能の充実や防災機能の向上による安心・安全な居住環境の形成が求められます。

(2) 地域の将来像

文化・風習を継承し、男鹿温泉郷を拠点とした 滞在型観光を牽引するまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

北浦地域は、大部分が国定公園に指定され、入道崎やなまはげ館、男鹿温泉郷、雲昌寺のあじさいなど、体験を伴う地域資源が見られます。今後も自然景観の保全、文化・風習を継承しながら、滞在型観光を牽引する土地利用を推進します。

<商業・業務地>

▼商業、業務機能の維持、生活環境の充実

入道崎の商業地区について、自然景観に配慮した土地利用の検討を行います。

<住宅地>

▼古くからの拠点としての良好な住宅環境の保全

北浦、野村、湯本等の古くからの地域拠点等については、空き地・空き家の情報発信や津波災害への備えの強化、バス路線の維持とサービスの向上を図りながら、良好な住環境の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	▼観光地を結ぶ道路ネットワークの機能維持 ▼バス路線の維持とサービス向上
住環境 ・市街地整備	▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	▼入道崎の景観維持 ▼自然公園地域の維持・保全 ▼一ノ目湧水源の維持・保全 ▼男鹿温泉郷の環境整備、未利用地の有効活用、温泉郷周辺でのレクリエーションとして親しまれる空間整備の検討 ▼男鹿温泉交流館五風を活用した集客力の強化 ▼旧男鹿北中学校の空き校舎・跡地利用の検討 ▼なまはげ館、男鹿真山伝承館等の保全と活用
防災・防犯 まちづくり	▼津波災害に備えた避難誘導看板の設置、避難路の整備 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼都市施設の維持管理

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1 回目 >

日本海に沈む夕日、男鹿温泉郷、真山神社、地域有志の手による雲昌寺のあじさいなど、観光資源が豊富で、漁業が盛んな地域です。



一方、人口減少や高齢化、空き家・空き地・空き店舗も増えており、病院や買い物が不便だという声も聞かれます。さらに、本市の観光を牽引している男鹿温泉郷があるものの、滞在型観光等、時代に即したサービスの提供を望む声も聞かれました。令和4年度に男鹿北中学校が男鹿南中学校に統合されたことから、その跡地利用も課題です。

将来にわたって住み続けられるよう、日常生活に必要な不可欠なものを利用しやすくすること（買い物、貨客混載を含めた公共交通、ドクターヘリの発着場等）を望む声が聞かれました。

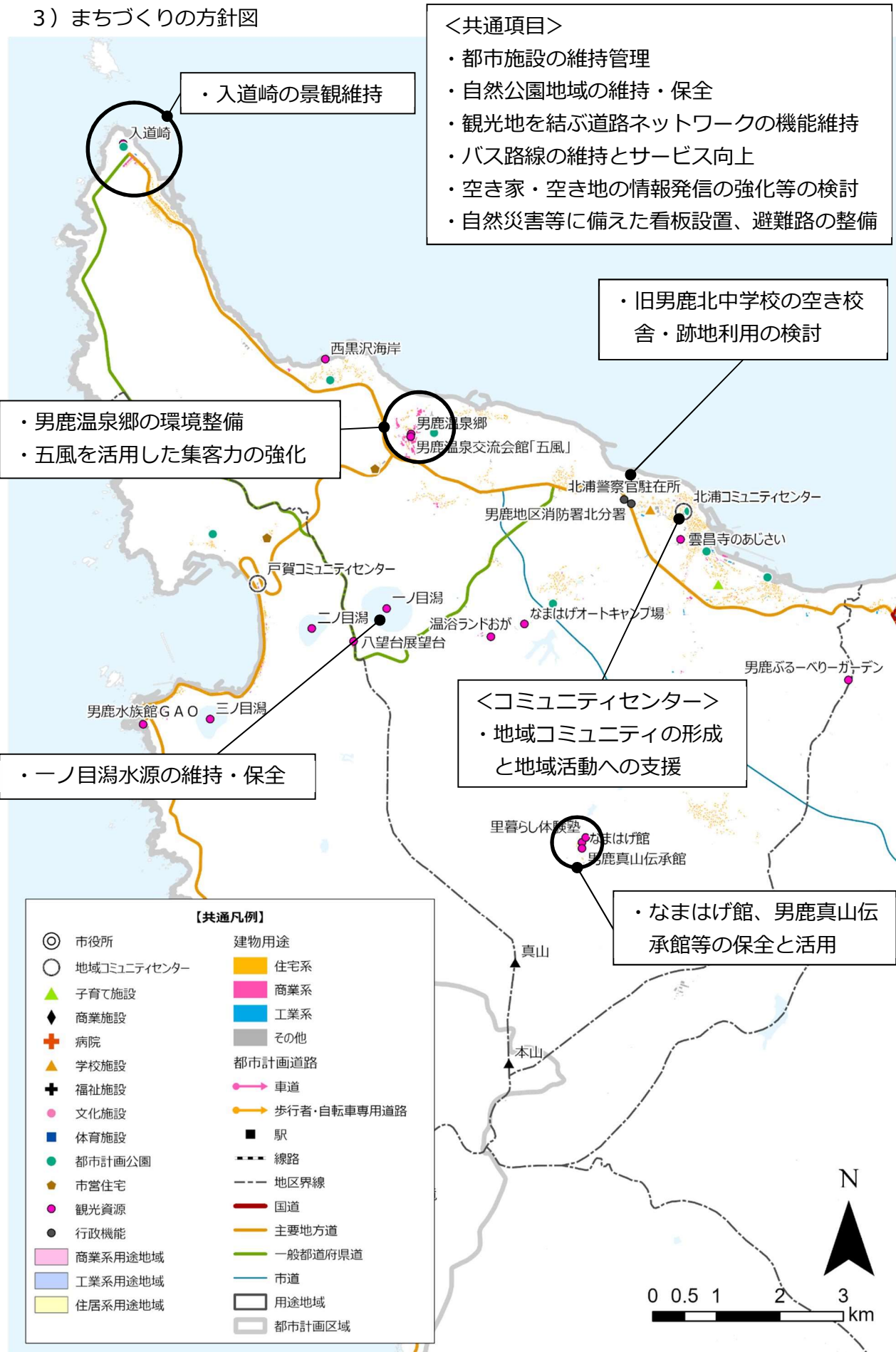
< 2 回目 >

環境美化等のため観光地や地域のごみ拾い、自宅前に花を植えたり、実際に釣りをした人の感想等を元に情報発信や観光客への積極的な声掛けなどから始める



意識が大切である、という思いを踏まえ、『北浦で ストレスフリーの 田舎暮らし』という一句が詠まれています。

3) まちづくりの方針図



2-5. 男鹿中地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

男鹿中地域は、市のほぼ中心部に位置しており、農業が盛んです。また、真山・本山・毛無山の三山を縦走するお山かけの風習があります。

国道 101 号が本地域を縦断する交通の要所となっており、なまはげラインも整備されたことにより半島各地へのアクセス性も向上しました。

その一方で、本地域の人口も他地域同様に減少が著しく、少子高齢化が進行していますが、地域住民による主体的な空き家調査や GB

(じっちゃん・ばっちゃん) ビジネスが展開されるなど、強固な地域コミュニティによる活動が盛んに行われています。



地域名	人口 (人)				人口増減率 (%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



浜間口の海岸 (本市 HP)



鬼の隠れ里 (男鹿なび HP)

■地域内の主な施設

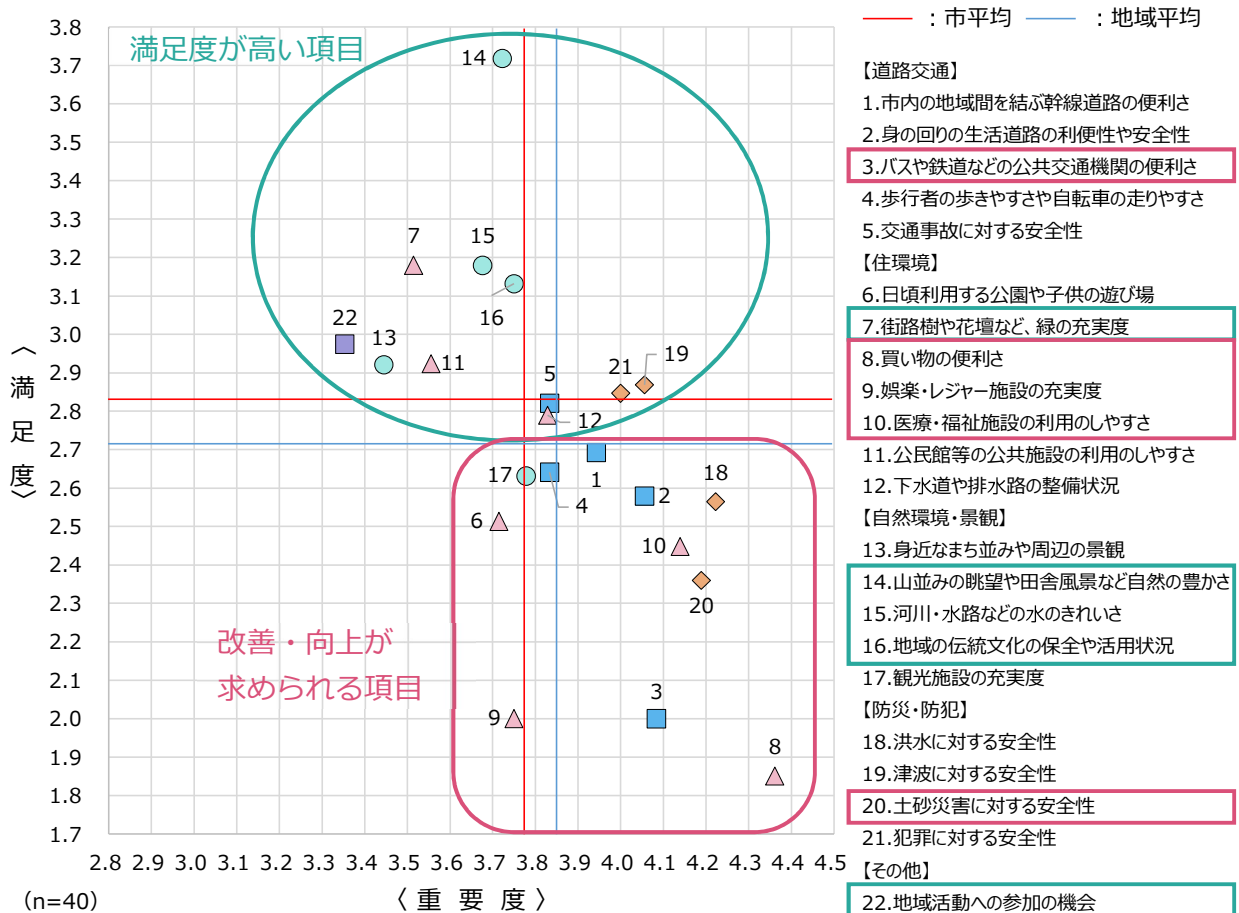
主要道路	国 道	101号	
	県 道	(主)入道崎寒風山線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	-
	その他の公園	中間口児童遊園、男鹿中地区ふれあい公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	-	
	雨 水	-	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	男鹿中コミュニティセンター		
教育施設	-		
文化施設	-		
公営住宅等	-		
体育施設	屋内ゲートボール場		
その他施設	-		
主な観光施設	寒風山、寒風山回転展望台、鬼の隠れ里		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について (問 2)

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と比べて低い』傾向が見られます。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：7.街路樹や花壇など、緑の充実度 2位：15.河川・水路などの水のきれいさ 4位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 5位：22.地域活動への参加の機会
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：8.買い物の便利さ 2位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 2位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 4位：20.土砂災害に対する安全性 5位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ



凡例 ■1-5：道路交通、▲6-12：住環境、●13-17：自然環境・景観、◆18-21：防災・防犯
■22：その他

図. 日常生活における満足度・重要度 (男鹿中地域)

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

全市に比べ『買い物不便』、『公共交通不便』、『遊休農地や管理不十分な山林の増加』が課題として強い傾向です。

一方、全市に比べ『空き地・空き家・空き店舗の増加』、『働く場の不足』などは、課題として低い傾向です。

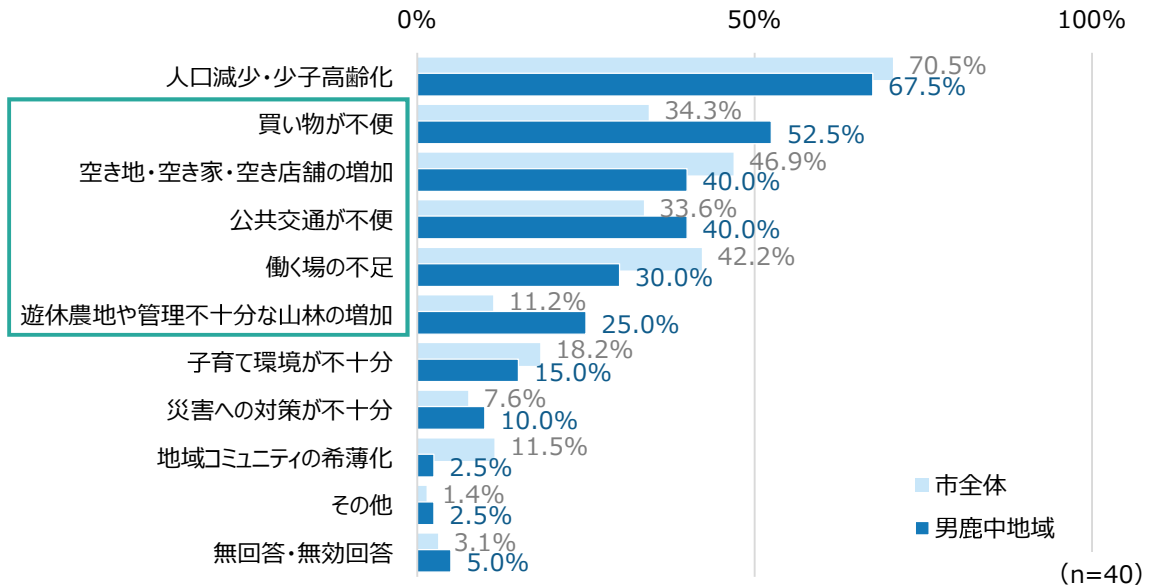


図. まちづくりの課題と感ずること（男鹿中地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

市全体と同様に参加意向ありが半数以上を占め、“興味がない・あまり関わりたくない”が非常に少ないことから『まちづくりへの参加意向が比較的高い地域』であると考えられます。

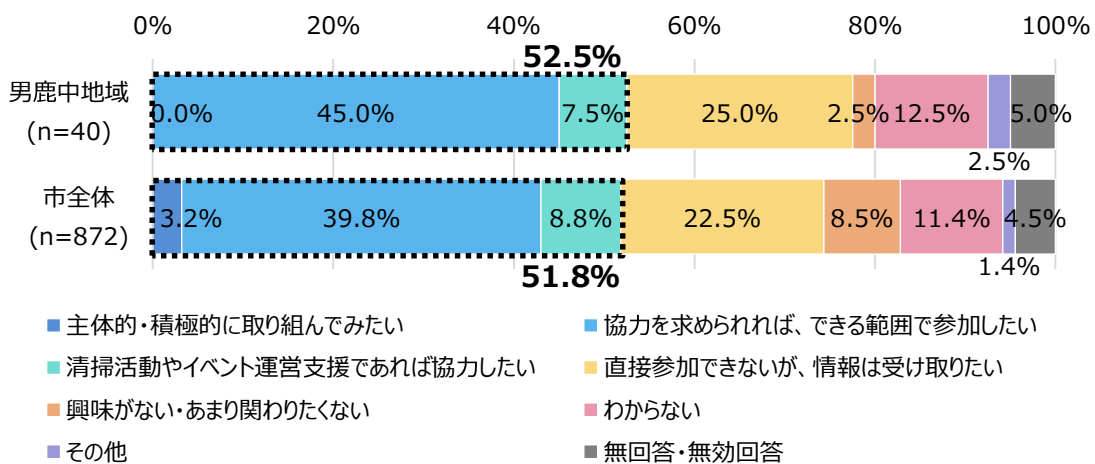


図. まちづくり活動等への参加意向（男鹿中地域）

3) 地域の主な課題

- 男鹿中地域は、本市の中央部に位置しており、交通の要所です。今後も、国道 101 号（浜間口バイパス）の整備促進が求められます。
- 浜間口周辺の海岸線や寒風山、滝川河川など、豊かな自然が見られるため、これらの維持・保全が求められます。
- 農業が盛んな地域ですが、第一次産業の後継者不足が課題です。
- 強固な地域コミュニティが見られる地域のため、この力を活かした買い物や交通、福祉等の生活利便性の向上や、高齢者も安心して暮らせる居住環境の形成が求められます。

(2) 地域の将来像

**地域ので、自然や田園を守り、
快適に暮らせるまち**

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

男鹿中地域は、美しい浜間口の海岸や豊かな田園の保全、GBビジネスの継続、地域に応じた福祉や交通の仕組みの創出など、強固な地域のコミュニティを活かしながら、安心して暮らせる土地利用を推進します。

<住宅地>

▼集落景観及び地域コミュニティ等に優れた良好な居住環境の保全

本地域は、豊かな自然や田園の美しさが魅力で、地域住民による主体的な空き家調査やGB（じっちゃん・ばっちゃん）ビジネスが展開されるなど、強固な地域コミュニティが見られます。今後も、これらの強みを活かしながら、海岸線の維持・保全、津波災害に備えた対策の強化、空き地・空き家の情報発信・活用等を推進し、高齢者が安心して暮らせる良好な居住環境の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取り組み

分野	主な取り組み
交通体系	▼国道 101 号（浜間口バイパス）の整備促進 ▼高齢者のため（買い物、医療機関等）の公共交通（バス路線）の維持
住環境 ・市街地整備	▼野生動物（タヌキ、ハクビシン等）への対応 ▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼地域住民主導による空き家調査の実施・活用 ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	▼浜間口周辺の海岸線の維持・保全 ▼国道 101 号（杉下～滝川間）の景観保全 ▼滝川河川の環境保全（鮭の遡上）、景観に配慮した治水の維持管理
防災・防犯 まちづくり	▼津波災害に備えた対策の強化 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼公共施設の再利用と有効活用の検討

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1 回目 >

美しい海岸線（浜間口）、鮭の遡上が見られる滝川、自然環境が豊かで、田園風景が見られる地域です。また、杉下地区の家並みや目黒家の門など、重要な地域資源も見られます。



一方、津波への不安、少子高齢化の進行、商業施設の移転に伴う買い物や移動の不便さ、空き家等にタヌキやハクビシン等の野生動物が棲みつく等、気になるところも増えています。

地域の中心地や高台などに、津波の不安がなく、地域の方々が集まって暮らすことができる男鹿中地域（まち）を望む声が聞かれました。

< 2 回目 >

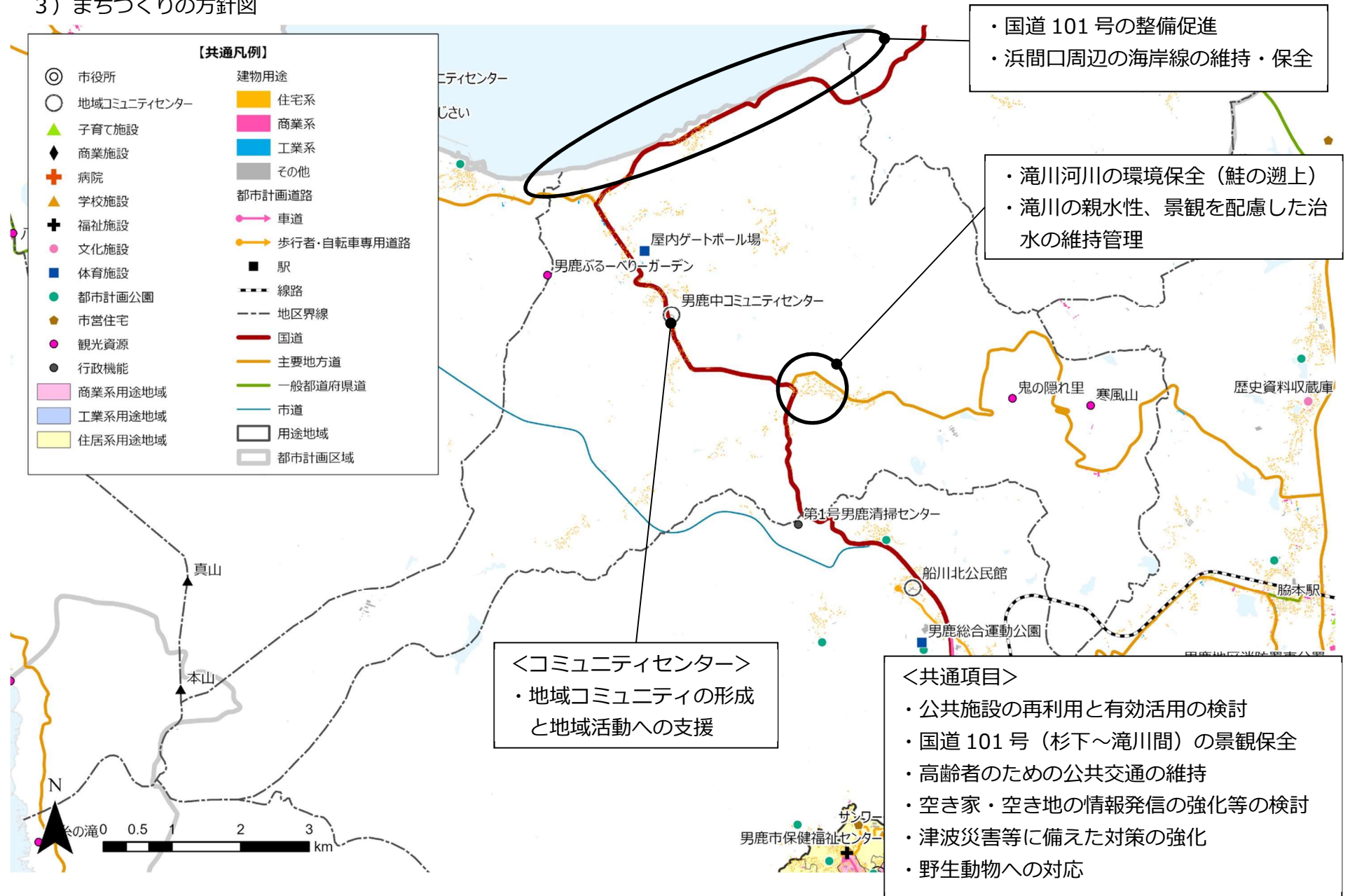
夏祭りや敬老会、GB（じっちゃん・ばっちゃん）ビジネス（山菜の採取と販売等）を続けていく意識が大切である、という思いから、



『景色良く 人も仲良く 楽しい集落』や『寒風山と滝川ダム このめぐみを 地域で守る』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図



2-6. 五里合地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

市の北東部に位置する五里合地域は、市内でも有数の生産性を誇る農地を有しており、ブランド米、男鹿梨、高収益作物のネギなどを中心に、本市の農業生産地として重要な役割を果たしています。

また、自然にろ過されて地上に湧き出している滝の頭湧水の浄水場があり、男鹿半島の農業用水や飲料水として広く使用されており、湧水が溜まる池はコバルトグリーンの水面から底がはっきり見えるほど透明度が高く、神秘的な場所です。

さらに、田園風景や地域の南方に臨む寒風山の景観は、心休まる生活環境を醸成しています。

一方、本地域の人口は、他地域同様に減少が著しく、少子高齢化が進行しています。また、五里合漁港内では車えび養殖が行われるなど、漁業も盛んです。



地域名	人口 (人)				人口増減率 (%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
協本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



男鹿の水源を湛える滝の頭 (男鹿なび HP)



五里合地区の農業環境 (秋田県 HP)

■地域内の主な施設

主要道路	国 道	101号	
	県 道	(一) 払戸琴川線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	箱井街区公園
	その他の公園	琴川児童遊園、鮎川児童遊園、中石児童遊園、橋本児童遊園、神谷はまなす公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	五里合地区農業集落排水施設	
	雨 水	-	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	五里合コミュニティセンター、五里合警察官駐在所		
教育施設	五里合保育園		
文化施設	-		
公営住宅等	-		
体育施設	五里合体育館		
その他施設	五里合漁港、国保五里合出張診療所、滝の頭水源		
主な観光施設	五里合海水浴場		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について（問2）

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と比べて低い』傾向が見られます。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：15.河川・水路などの水のきれいさ 3位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 4位：22.地域活動への参加の機会 5位：11.公民館等の公共施設の利用しやすさ
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 2位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 3位：8.買い物の便利さ 4位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ 5位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場

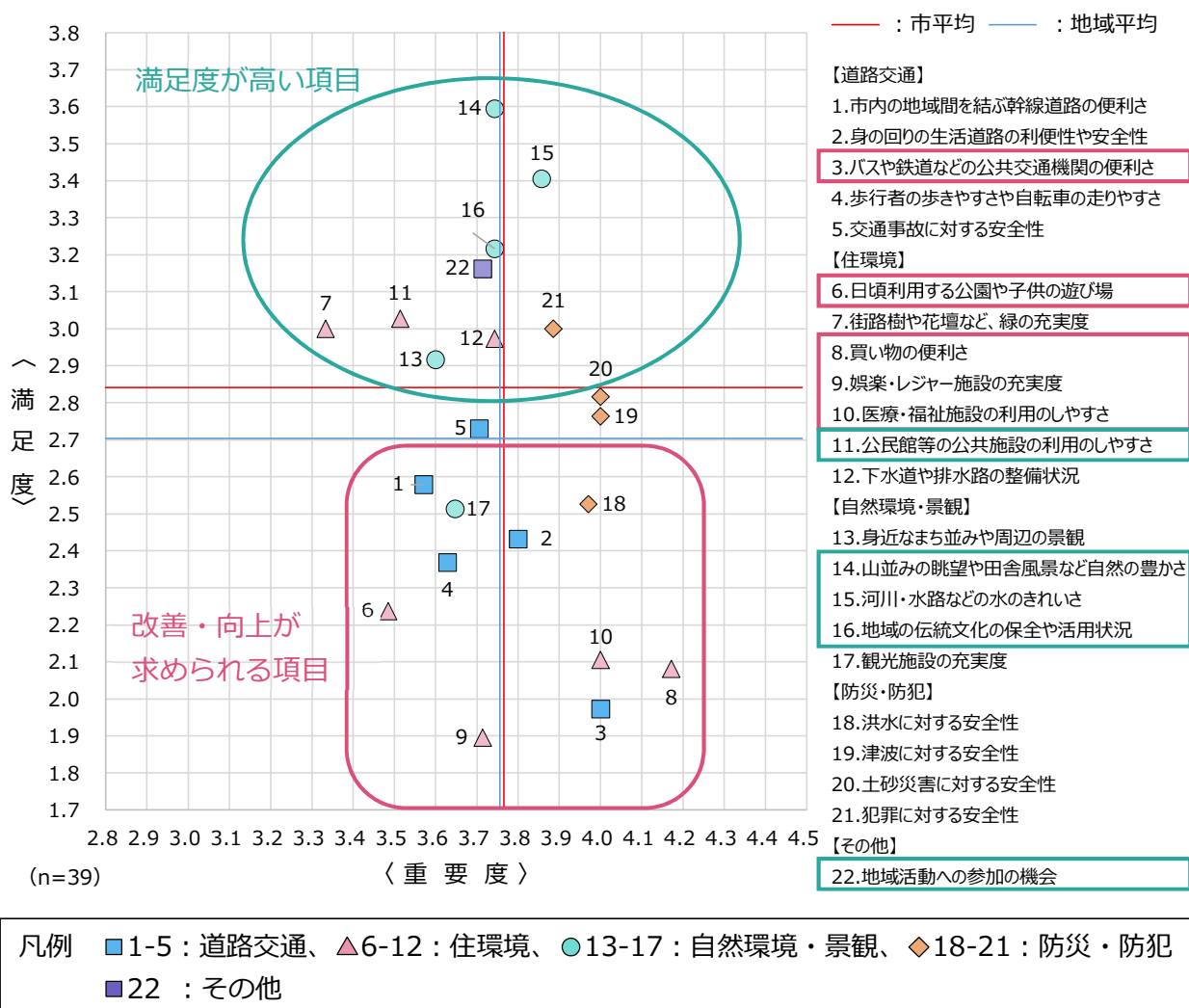


図. 日常生活における満足度・重要度（五里合地域）

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

全市に比べ『公共交通が不便』、『買い物が不便』が課題として強い傾向です。

一方、全市に比べ『人口減少・少子高齢化』、『空き地・空き家・空き店舗の増加』、『働く場の不足』が課題として低い傾向です。

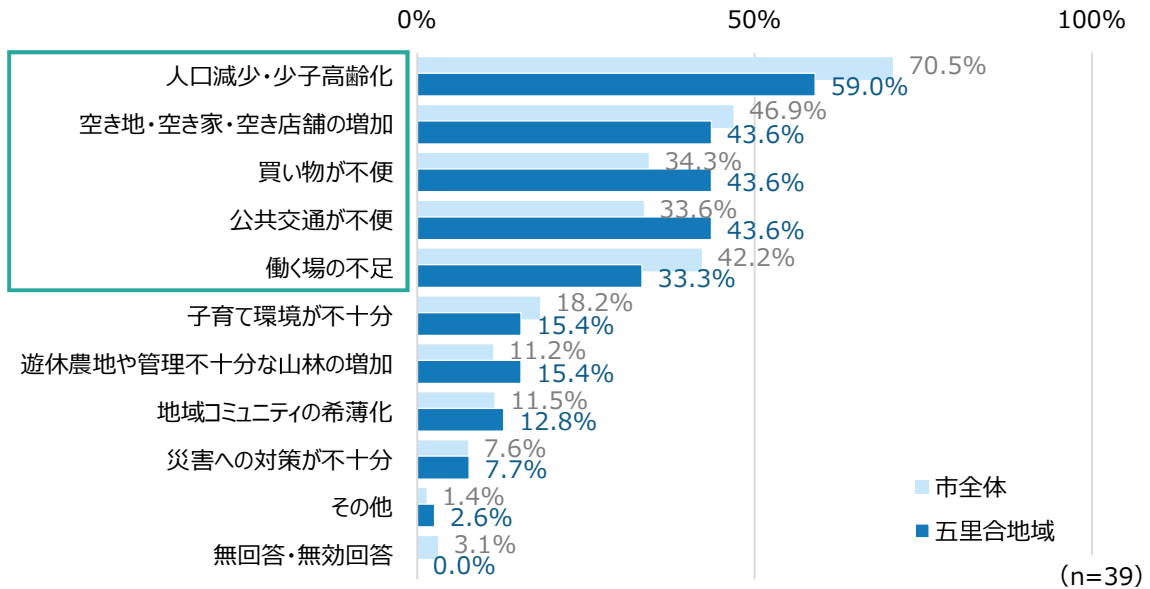


図. まちづくりの課題と感ずること（五里合地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

全市に比べ参加意向ありが 22.6 ポイント高く、『まちづくりへの参加意向が高い地域』であると考えられます。

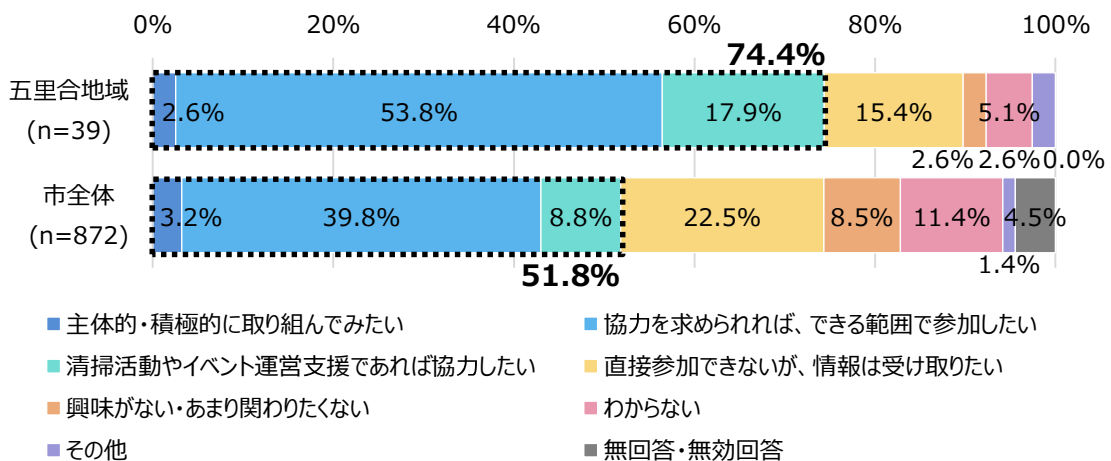


図. まちづくり活動等への参加意向（五里合地域）

3) 地域の主な課題

- 五里合地域は、農業法人等による生産性が高い農業が盛んなため、新たに観光農園の実現等も見据えた農業振興が求められます。
- 滝の頭の水源、美しい海水浴場や海岸沿いの風致林等の適切な管理が求められます。
- 五里合保出張診療所のあり方の検討が求められます。
- それぞれの里でイベントを開催するなど、強固な地域コミュニティが見られるため、その力を活かした利便性の向上や、良好な居住環境の保全が求められます。

(2) 地域の将来像

**生産性が高い農業により、
地域の力を活かして 豊かさを実現するまち**

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

五里合地域は、農業法人等による生産性の高い農業の維持・保全、観光農園の実現、イベントの継続を、強固な地域のコミュニティを活かしながら、豊かさを感じられる良好な居住環境の保全に向けた土地利用を推進します。

<住宅地>

▼地域コミュニティ等に優れた良好な居住環境の保全

本地域は、生産性の高い園芸メガ団地による農業が盛んで、地域コミュニティが強固です。今後も、地域資源の維持・保全や、空き地・空き家の情報発信と能動的な活用、津波災害に備えた対策の強化等を進め、良好な居住環境の維持・保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取り組み

分野	主な取り組み
交通体系	▼高齢者のため（買い物、医療機関等）の公共交通（バス路線）の維持
住環境 ・市街地整備	▼高齢者福祉サービスの充実 ▼国保五里合出張診療所のあり方検討 ▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援 ▼公共空地の利用促進 ▼農業集落排水施設の維持管理
地域資源の 保全・活用	▼滝の頭の維持・保全 ▼園芸メガ団地における農業の振興 ▼観光農園（果樹）整備のあり方の検討 ▼五里合海水浴場の保全・充実 ▼浜間口～五里合海岸の風致林の管理 ▼海岸線の管理と景観保全
防災・防犯 まちづくり	▼津波災害に備えた対策の強化 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1回目 >

五つの里が合わさってできた五里合地域。日本海の美しい海岸線（五里合海岸）、豊かな田園風景、果樹（和梨）の栽培などが盛んです。また、地域名のとおり、里ごとの地域コミュニティがしっかりしています。

一方、津波への不安、少子高齢化の進行、移動の不便さ、野生動物の増加など、気になるところも増えています。

豊かな自然や美しい景観などを活かし、地域コミュニティを活発にしながら、今いる人が豊かな人生を送ることができる五里合地域となることが期待されています。

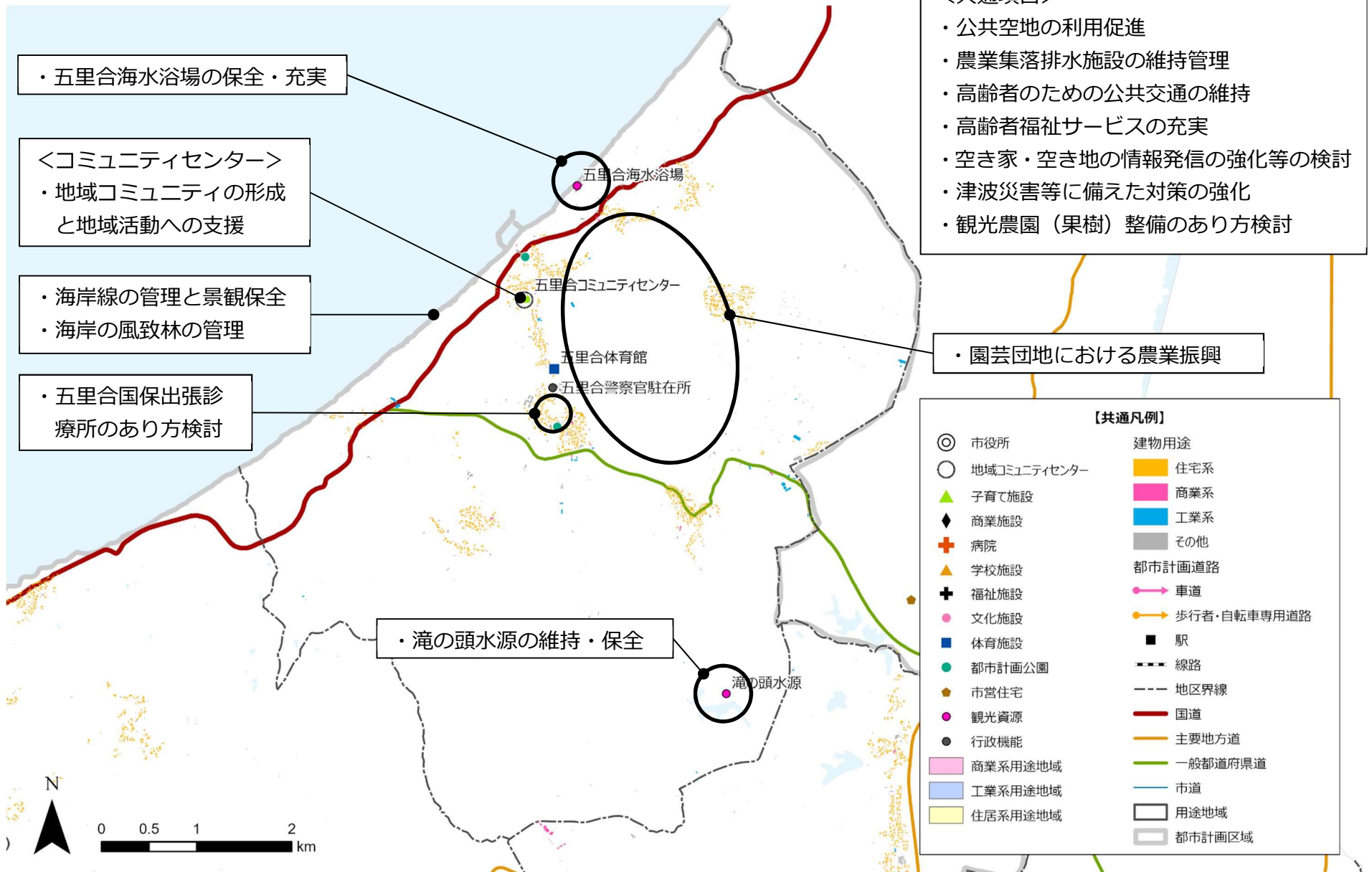
< 2回目 >

五里合の農業（中間管理機構と農業法人）に関心を持ち、地域のイベントに積極的に参加し、公民館の活用、景観・美観形成のための草刈り作業、花壇への植栽をする意識が大切である、という思いから、

『五里合の コミュニティ力で 楽しい人生』や、『安定した 農業法人中心で 働く場を提供する』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図



2-7. 脇本地区

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

脇本地区は、市内で最も平坦地面積が大きい地域となっており、JR 男鹿線の脇本駅、基幹道路、下水道の整備による市街化が進んでいます。

また、本地区は、標高 355mの寒風山や東北最大級の大きさを誇る国指定史跡脇本城跡等の観光スポットも存在し、城下町の街並み保全や、位置的状况からも船川地域、船越地域と同様に本市の都市機能を担う拠点地域として期待されています。さらに、老人福祉施設が本市の中で最も多く設置されています。

一方、他地域と同様に人口の減少傾向が見られ、併せて、国道101号沿いにおいても、多くの未利用地が見られます。



地域名	人口(人)				人口増減率(%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



芝生で覆われた寒風山（男鹿なび HP）



史跡脇本城跡（本市 HP）

■地域内の主な施設

主要道路	国 道	101号	
	県 道	(主) 男鹿琴丘線、(主) 入道崎寒風山線	
	市 道 (都) は都市計画道路を示す	(都) 下谷地船越線、(都) 男鹿臨港線、(都) 男鹿秋田線	
鉄道駅	JR 男鹿線脇本駅		
公園	都市計画公園	近隣公園	脇本近隣公園
		街区公園	飯の町街区公園、大倉街区公園、樽沢街区公園
	その他の公園	脇本駅前児童遊園、曲田児童遊園、百川児童遊園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	男鹿市公共下水道	
	雨 水	脇本雨水幹線	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	男鹿市斎場、脇本コミュニティセンター、脇本警察官駐在所、男鹿地区消防署東分署、男鹿ガス製造所		
教育施設	脇本第一小学校、脇本保育園、いづみ幼稚園		
文化施設	歴史資料収蔵庫 (旧脇本第二小学校)		
公営住宅等	脇本団地、諸産堤団地		
体育施設	男鹿市 B&G 海洋センター (体育館、プール)		
その他施設	脇本漁港、マックスバリュ男鹿店		
主な観光施設	脇本城跡、寒風山		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について（問2）

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と同程度』であることが分かります。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：13.身近なまち並みや周辺の景観 2位：15.河川・水路などの水のきれいさ 4位：1.市内の地域間を結ぶ幹線道路の便利さ 5位：18.洪水に対する安全性
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 2位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 3位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場 4位：10.医療・福祉施設の利用のしやすさ 5位：17.観光施設の充実度

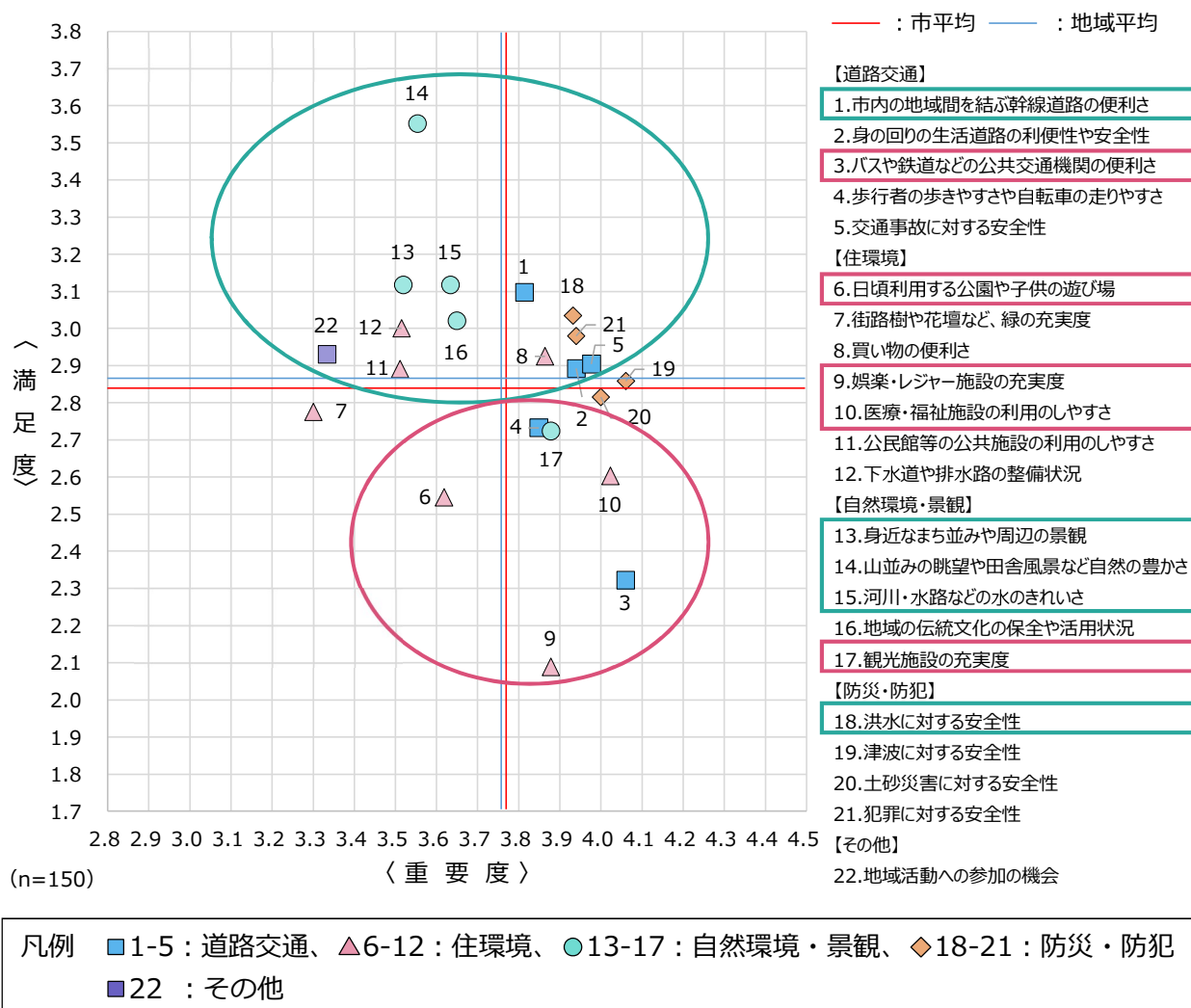


図. 日常生活における満足度・重要度（協本地域）

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

市全体の傾向と概ね同様ですが、『公共交通が不便』、『買い物が不便』が課題として低い傾向です。

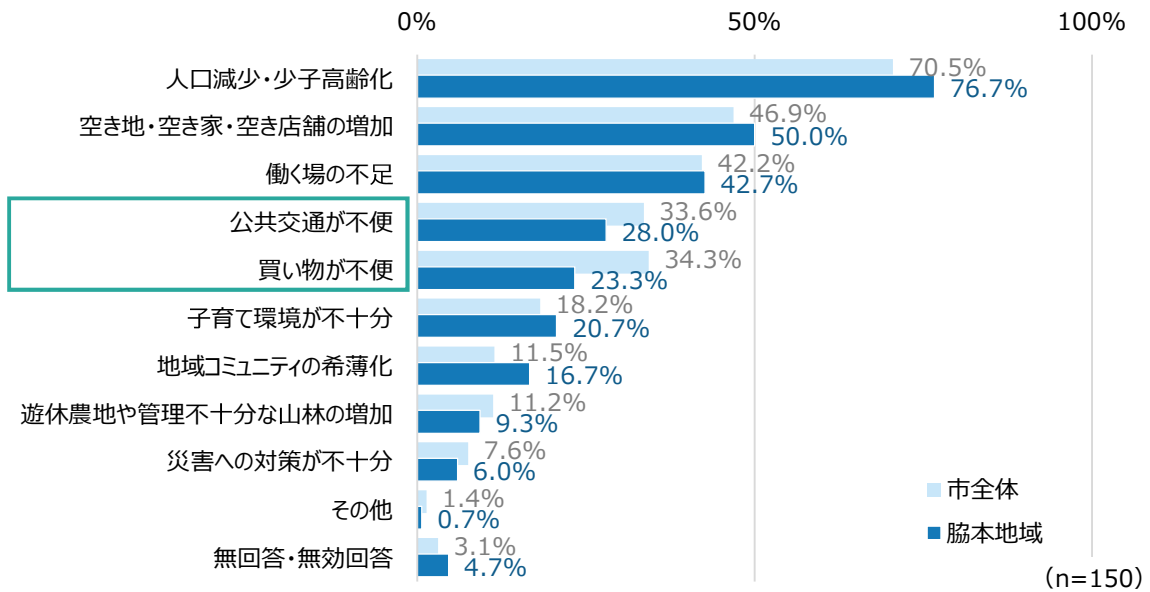


図. まちづくりの課題と感ずること（脇本地区）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

全市に比べ参加意向ありが 5.8 ポイント低いことから『まちづくりへの参加意向が比較的低い地域』であると考えられます。

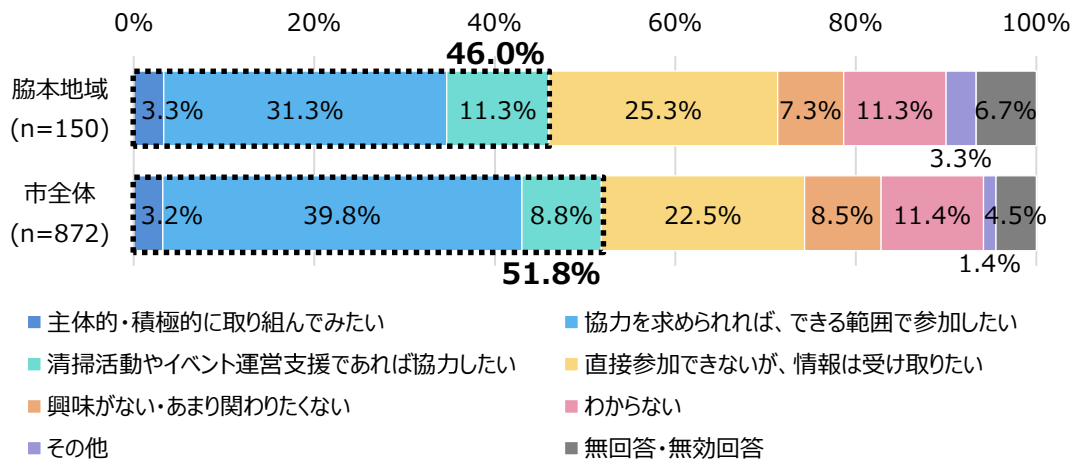


図. まちづくり活動等への参加意向（脇本地区）

3) 地域の主な課題

- 脇本地区は、地域拠点に位置づけられるため、脇本駅の交通結節機能の充実を図りながら、生活利便施設の維持が求められます。
- 寒風山、脇本城跡や風情ある街並みなど、自然や歴史・文化等の地域資源が見られるため、それらの保全・活用を図りながら、次世代への継承が求められます。
- ボランティアが主体となった高齢者が集まれる場所（お茶っこサロン）の運営が続けられていることから、地域コミュニティによる地域づくりが求められます。

(2) 地域の将来像

寒風山や脇本城跡の歴史・文化の保存と活用を図り 次世代へ継承するまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

中心拠点の船川地域と船越地域の中間に位置し、地域拠点に位置づけられる脇本地区は、寒風山や脇本城跡等の自然や歴史・文化を大切に次世代に継承しながら、良好な居住環境の形成を図る土地利用を推進します。

<商業・業務地>

▼ 既成市街地や既存集落における生活利便施設としての商業空間の維持

既成市街地や既存集落などにおいては、脇本駅の交通結節機能の充実を図りながら、生活利便施設としての商業空間の維持に努めます。

<住宅地>

▼ 良好な居住環境の保全

用途地域の指定がある風情ある街並みの既成市街地は、城下町の風情と街道における町屋の佇まいを残す良好な住宅地です。生活基盤の維持管理や空き家・空き地への対応、津波災害等に備えた対策の強化などを進めながら、良好な居住環境の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	<ul style="list-style-type: none"> ▼脇本駅における交通結節機能の充実 ▼公共交通機関の充実
住環境 ・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼ボランティアが主体となった高齢者の集まる場所の維持 ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ▼脇本城跡の保全、環境整備事業の推進、歴史資料館の検討 ▼脇本城跡と下谷地地区の街並みの保全 ▼脇本海岸の清掃・維持管理 ▼希少性が高い寒風山の草地環境の保全（山焼き事業、草刈り事業） ▼寒風山の景観保全と観光施設の保全
防災・防犯 まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ▼津波災害に備えた対策の強化 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ▼都市施設の整備、維持管理 ▼公共下水道の維持管理 ▼雨水幹線の維持管理 ▼斎場の長寿命化に向けた改修工事

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1回目 >

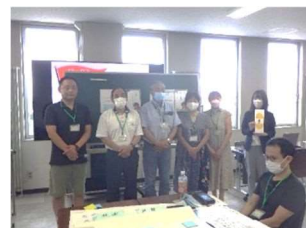
寒風山、日本海、脇本城跡、茶臼桜など資源が豊富な地域です。また、地域ではお茶っこサロンという地域の方々が集まる場づくりも行われています。一方、空き家の増加、茶臼桜の老化や寒風山の売店・飲食店の減少など、資源の活用ができていない点が見られます。



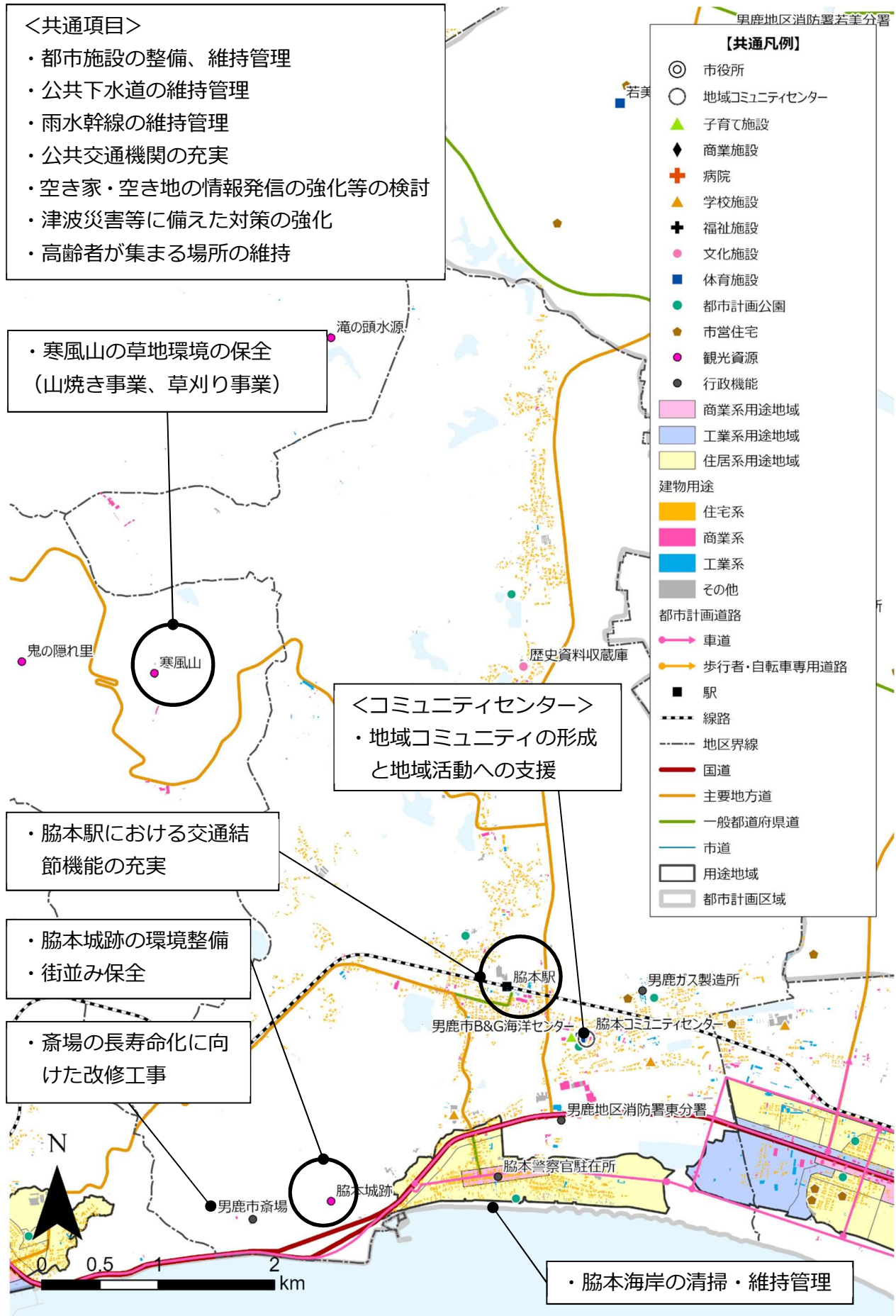
地域の自然（山、海、城跡）、歴史、地域コミュニティ等を活かし、地域住民の絆と生きがいづくりにつながる、住みやすい地域づくりが求められています。

< 2回目 >

お茶っこサロンの開催場所を増やしながらか、まずは町内の人との関わり（声掛け）を増やすことや、脇本城址を活かした活動が大切である、という思いから、『脇ーっ子海・山・城を 駆け回る』や『脇本は 世代間交流できる 宝の城下町』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図



2-8. 船越地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

船越地域は潟上市に隣接した本市の東部に位置しており、15mのなまはげ立像が目印の男鹿総合観光案内所や船越駅があるなど、男鹿の玄関口です。また、公営住宅や宅地開発による新団地の整備が進む地域であり、国道沿いには次々とロードサイド型の店舗が立地する等、利便性が高い新たな市街地形成が見られます。さらに、船越こども園の建設、船越小学校大規模改修が実施中で、子育てや教育環境の整備が進められています。

人口は、船川地域について2番目に多く、人口減少率は、市内で唯一10%を切るなど、人口減少が緩やかな地域です。



地域名	人口(人)				人口増減率(%)	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲8.3	▲6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



男鹿総合観光案内所のなまはげ立像
(本市観光商工課 HP)



なまはげモール南側の
第二種住居地域での住宅地開発

■地域内の主な施設

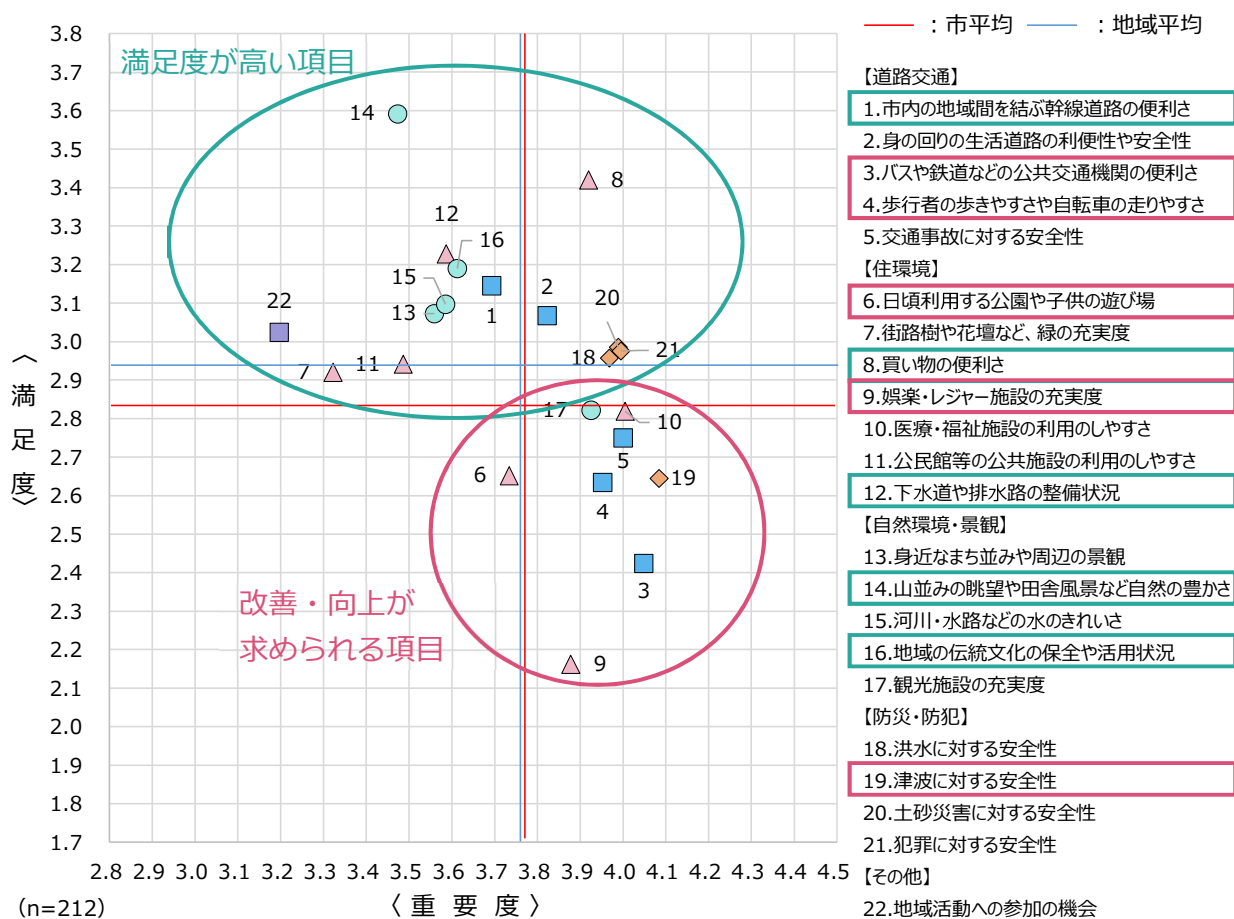
主要道路	国道	101号	
	県道	(主) 男鹿八竜線、(一) 男鹿昭和飯田川線、(一) 船越停車場線	
	市道	(都) 内子前野線、(都) 内子杉山線、(都) 男鹿臨港線、(都) 男鹿秋田線、(都) 船越中央通線	
鉄道駅	JR 男鹿線船越駅		
公園	都市計画公園	近隣公園	船越近隣公園
		街区公園	中町街区公園、長沼街区公園、一向街区公園、八郎谷地街区公園、前野街区公園、内子街区公園
	その他の公園	内子団地児童遊園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚水	男鹿市公共下水道	
	雨水	船越ポンプ場、船越第2ポンプ場、船越雨水幹線	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	(都) 第1号男鹿地区汚物処理場(男鹿地区衛生センター)、船越コミュニティセンター、男鹿総合観光案内所、船越警察官駐在所、いとく市民サービス窓口		
教育施設	県立男鹿工業高校、男鹿東中学校、船越小学校、船越保育園		
文化施設	-		
公営住宅等	県営船越内子住宅、内子団地		
体育施設	船越市民運動広場		
その他施設	船越漁港、八郎潟調整池防潮水門、男鹿なまはげモール、スーパーセンターアマノ		
主な観光施設	なまはげ立像		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について (問 2)

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と比べて高い』傾向が見られます。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：8.買い物の便利さ 3位：12.下水道や排水路の整備状況 4位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 5位：1.市内の地域間を結ぶ幹線道路の便利さ
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 2位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 3位：4.歩行者の歩きやすさや自転車の走りやすさ 4位：19.津波に対する安全性 5位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場



凡例 ■1-5：道路交通、▲6-12：住環境、●13-17：自然環境・景観、◆18-21：防災・防犯
■22：その他

図. 日常生活における満足度・重要度 (船越地域)

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

全市に比べ『子育て環境が不十分』、『災害への対策が不十分』などが課題として強い傾向です。

一方、全市に比べ『買い物が不便』が課題として低い傾向です。

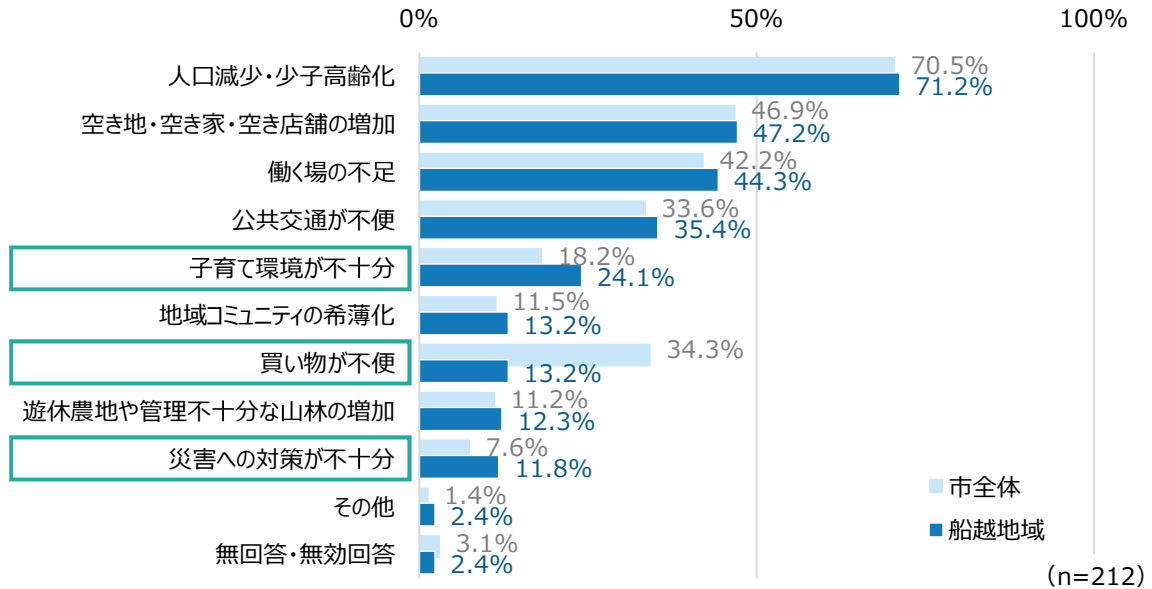


図. まちづくりの課題と感ずること（船越地域）

③まちづくりの推進（問 18）

市全体と同様に参加意向ありが半数以上を占め、全市に比べ“主体的・積極的に取り組んでみたい”が 1.0 ポイント、“清掃活動やイベント運営支援であれば協力したい”が 1.1 ポイントそれぞれ高くなっており、『まちづくりへの参加意向が比較的高い地域』であると考えられます。

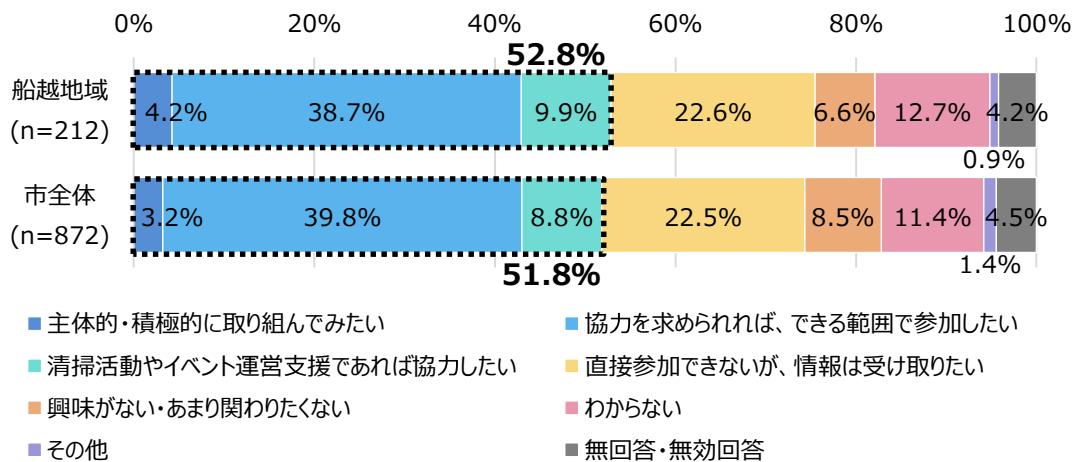


図. まちづくり課題等への参加意向（船越地域）

3) 地域の主な課題

- 船越地域は、国道 101 号沿道での商業施設の立地、船越こども園の建設や船越小学校の大規模改修が進められており、子育てしやすい教育と文化のまちづくりが求められています。
- 国道 101 号沿道に出店した商業施設周辺では、用途地域内への住宅建設が進められています。また、一部用途地域外での宅地開発による市街化も見られることから、適切な市街化の誘導を推進し、良好な居住環境の形成が求められています。

(2) 地域の将来像

玄関口として 商業や居住環境の充実を図り 子育てしやすい教育と文化のまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

本市の玄関口で中心拠点に位置づけられる船越地域は、用途地域内での居住環境の整備や国道沿道での商業機能の充実、子育てや教育環境の向上を図りながら、子育てしやすいまちづくりを進め、本市の人口流出に歯止めをかけられる土地利用を推進します。

<商業・業務地>

▼国道 101 号沿道における商業機能の集積・誘導を促進

国道 101 号沿道では、郊外型の商業施設の集積が見られ、本市の中で利便性の高い地域となっています。また、公営住宅や宅地開発が進むとともに、船越こども園の建設や船越小学校の大規模改修が実施中で、子育てしやすい環境の整備と相乗効果が図られるよう、今後も日常生活に即した商業機能の集積・誘導を促進します。

<住宅地>

▼用途地域内での市街化を推進し、良好な住宅地の形成の促進

国道 101 号以南の船越内子地区では公営住宅が整備されるとともに、大型商業施設周辺の住居系用途地域内では新たな住宅地形成も進められています。今後も、用途地域内での市街化の推進を図りながら、快適な居住環境の創出を目指すなどの取組みが期待されます。

一方、低層の戸建て住宅を主体とした住宅地が形成されている船越駅周辺地区については、空き家・空き店舗対策や、用途地域外への住宅建設を注視しながら、今後とも良好な住環境の維持・増進を図ります。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	▼船越駅を起点とした公共交通体系の確保
住環境 ・市街地整備	▼用途地域内の市街化の推進や、快適な居住環境の創出に向けた開発行為制度の適切な指導 ▼用途地域外での市街化の抑制 ▼子育てしやすい環境の整備 ▼既成市街地における空き家・空き店舗対策 ▼コミュニティセンターを活用し、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	▼船越海岸、船越水道の清掃・維持管理
防災・防犯 まちづくり	▼地域主体となった避難訓練の励行 ▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼長期未着手の都市計画道路の見直し検討 ▼都市計画道路・公園の適切な維持管理 ▼公共下水道の維持管理 ▼雨水ポンプ場、雨水幹線の維持管理 ▼馬場目川堤防周辺雨水排水整備推進に向けた船越ポンプ場の改修 ▼船越近隣公園の活用拡大の推進

コラム

住民ワークショップから出されたご意見

< 1回目 >

海・船越水道、農地・公園など自然が豊かで、商業・飲食施設、教育施設も近いなど利便性が高く、宅地開発の動向も活発で、転入者や子育て世帯も増加している活気のある地域です。



一方、旧市街地は「空き家」が多く、「道が狭い」箇所も見られます。また、「遊ぶ場所、働く場所、宿泊施設が少ない」点、「用途地域が混在」している点などが課題として挙げられました。

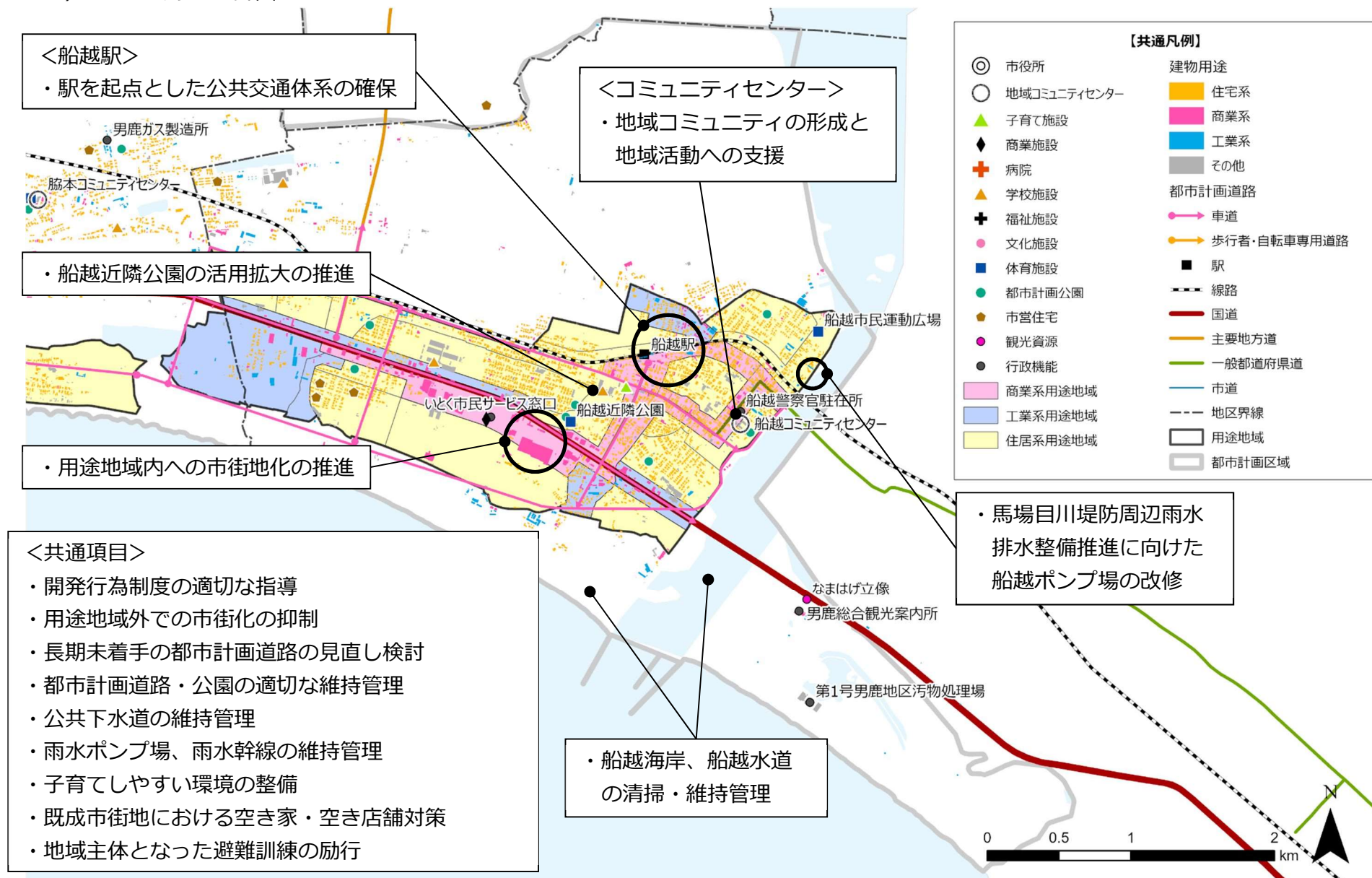
本市全体の中での船越地域の役割を明確にしたランドデザインに沿った、唯一無二の自然・文化・食を活かし、ライフラインが整った暮らしやすいまちづくりが期待されています。

< 2回目 >

イベントを盛り上げたり、挨拶をすることから、活気あるまちづくりを目指したい、という思いから、『ベテランもルーキーも 住みやすい あいさつのまち』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図



2-9. 若美地域

(1) 現況と課題

1) 地域の現況

平成 17 年に旧男鹿市と合併した若美地域は、旧若美町の多様な公益施設が点在しており、男鹿半島・大潟ジオパークの拠点施設であるジオパーク学習センターが立地しています。

また、稲作や果樹栽培（メロン）、大豆等の生産が盛んな地域です。

さらに、大規模畜産場、申川油田、宮沢海水浴場などの施設があり、日本海メロンマラソンや若美走り納め駅伝が開催されるなどスポーツ大会や地域行事も活発に行われている、強固なコミュニティを持つ地域です。

なお、本地域は、都市計画区域外であり、農業振興地域となっています。



地域名	人口（人）				人口増減率（%）	
	H25	H30	R5	(%)	R5/H25	R5/H30
船川	7,070	6,336	5,452	22.2	▲22.9	▲14.0
椿	841	746	623	2.5	▲25.9	▲16.5
戸賀	547	444	363	1.5	▲33.6	▲18.2
北浦	3,127	2,625	2,096	8.6	▲33.0	▲20.2
男鹿中	1,321	1,124	998	4.1	▲24.5	▲11.2
五里合	1,686	1,472	1,219	5.0	▲27.7	▲17.2
脇本	4,625	4,180	3,707	15.1	▲19.8	▲11.3
船越	5,882	5,738	5,391	22.0	▲ 8.3	▲ 6.0
若美	6,240	5,468	4,662	19.0	▲25.3	▲14.7
市全体	31,339	28,133	24,511	100.0	▲21.8	▲12.9



宮沢海水浴場（男鹿なび HP）



若美メロン（男鹿なび HP）

■地域内の主な施設

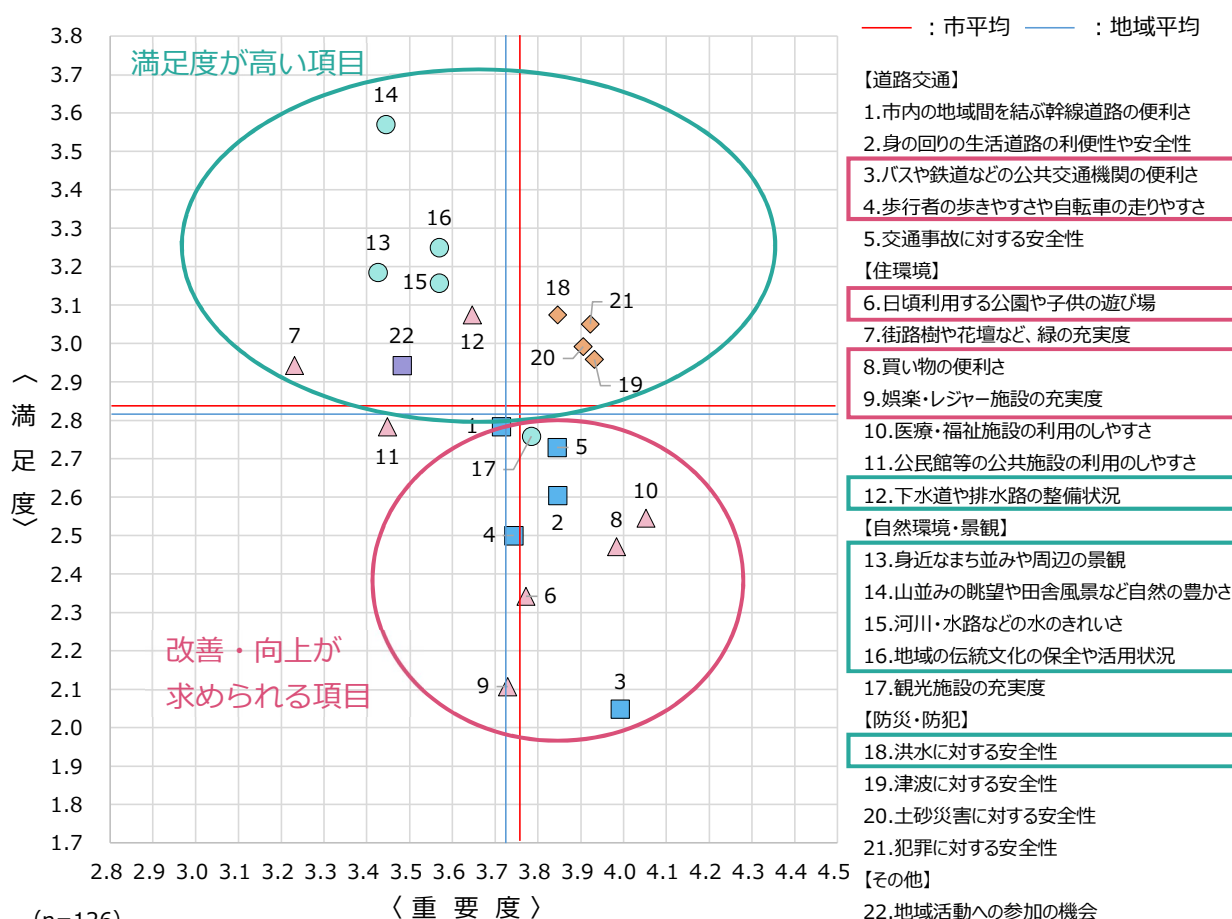
主要道路	国 道	101号	
	県 道	(主) 男鹿八竜線、(主) 男鹿琴丘線、(一) 払戸琴川線	
	市 道	-	
鉄道駅	-		
公 園	都市計画公園	近隣公園	-
		街区公園	-
	その他の公園	若美中央公園、館山近隣公園、五明光地区児童遊園、赤坂地区児童遊園、松木沢地区児童遊園、角間崎地区児童遊園、福川地区児童遊園、潟端地区児童遊園、渡部地区児童遊園、横長根地区児童遊園、野石地区農村公園、八ツ面地区農村公園、福米沢地区農村公園、福野地区農村公園	
上水道	男鹿市上水道		
下水道	汚 水	男鹿市公共下水道	
	雨 水	-	
ガス	男鹿市都市ガス		
行政機能	若美支所、八郎湖周辺クリーンセンター、若美コミュニティセンター、宮沢警察官駐在所、若美警察官駐在所、男鹿地区消防署若美分署		
教育施設	払戸小学校、美里小学校、若美南保育園、玉ノ池保育園		
文化施設	-		
公営住宅等	小深見団地、横長根団地、渡部団地、角間崎団地、鶴木団地、野石団地		
体育施設	若美総合体育館、若美中央公園球場、若美球場、若美スキー場		
その他施設	若美漁港、男鹿ふっと観光案内所、ジオパーク学習センター		
主な観光施設	宮沢海水浴場、宮沢海岸オートキャンプ場、夕陽温泉 WAO		

2) 住民アンケートの結果

①あなたの日常生活について（問2）

本地域における全項目の「満足度」の平均値は、『全市と同程度』であることが分かります。各項目の主な特徴は次のとおりです。

満足度が「高い」項目 *上位5位	1位：14.山並みの眺望や田舎風景など自然の豊かさ 2位：16.地域の伝統文化の保全や活用状況 3位：13.身近なまち並みや周辺の景観 4位：15.河川・水路などの水のきれいさ 5位：12.下水道や排水路の整備状況 5位：18.洪水に対する安全性
「重要度が高い」割に、 「満足度が低い」項目 *上位5位	1位：3.バスや鉄道などの公共交通機関の便利さ 2位：9.娯楽・レジャー施設の充実度 3位：6.日頃利用する公園や子供の遊び場 4位：8.買い物の便利さ 5位：4.歩行者の歩きやすさや自転車の走りやすさ



凡例 ■ 1-5 : 道路交通、▲ 6-12 : 住環境、● 13-17 : 自然環境・景観、◆ 18-21 : 防災・防犯
■ 22 : その他

図. 日常生活における満足度・重要度（若美地域）

②まちづくりの課題と感ずること（問 6）

市全体の傾向と概ね同様ですが、『買い物不便』、『子育て環境が不十分』、『地域コミュニティの希薄化』が課題として強い傾向です。

一方、全市と比べ『働く場の不足』や『公共交通が不便』が課題として低い傾向です。

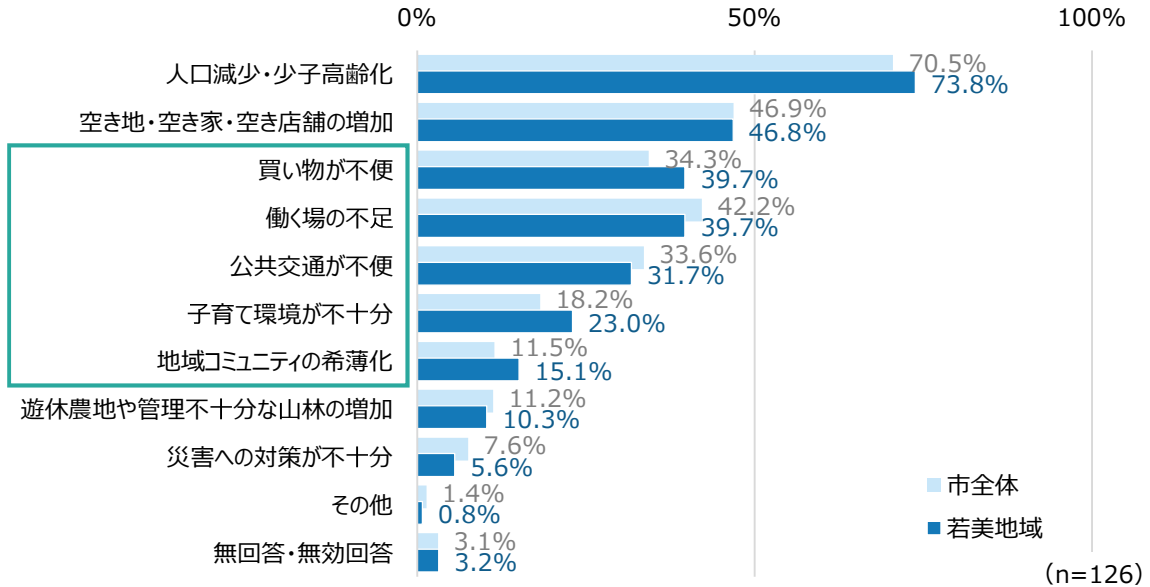


図. まちづくりの課題と感ずること（若美地域）

③まちづくり活動等への参加意向（問 18）

市全体と同様に参加意向ありが半数以上を占め、『まちづくりへの参加意向が比較的高い地域』であると考えられます。

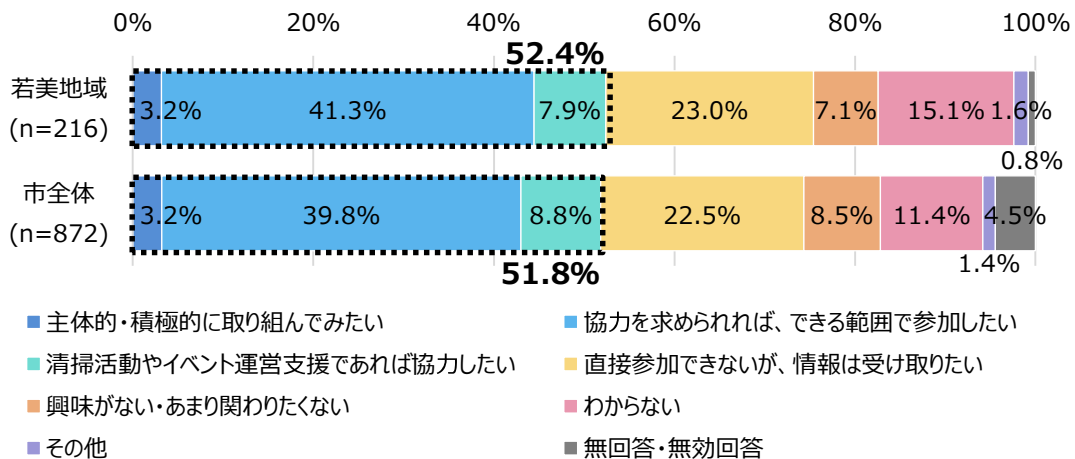


図. まちづくり活動等への参加意向（若美地域）

3) 地域の主な課題

- 若美地域は、旧若美町の多様な公共施設が点在しているため、適切な維持管理、活用が求められています。
- 稲作やメロン、大豆等の生産、大規模畜産農家との耕畜連携等が盛んな農業振興地域であることから、本市の基幹産業である農業の牽引役として、ブランド化が求められています。

(2) 地域の将来像

農業のブランド化などを加速させ、 本市農業を牽引するまち

(3) まちづくりの基本方針

1) 土地利用の方針

若美地域は、旧若美町の多様な公益施設が点在しているとともに、稲作やメロン、大豆等の生産が盛んな農業振興地域であるため、本市農業の牽引役とし、ブランド化を加速させつつ、良好な居住環境の形成を図る土地利用を推進します。

<住宅地>

▼良好な居住環境の保全

本地域は、本市を代表する農業振興地域であり、多様な公益施設が点在する利便性の高さが強みです。今後もこれらの強みを活かしながら、良好な居住環境が維持・保全されるよう、空き地・空き家の情報発信や地域資源の保全に努めます。

2) 分野別の方針と主な取組み

分野	主な取組み
交通体系	▼公共交通機関の充実
住環境 ・市街地整備	▼公益施設の適切な維持管理、活用の検討 ▼住民の主体的な住環境の整備・維持 ▼空き家・空き地の情報発信の強化、活用方策の検討 ▼若美支所、若美コミュニティセンター・公民館を活用した、地域コミュニティの形成と地域活動への支援
地域資源の 保全・活用	▼宮沢海岸の清掃・維持管理 ▼若美メロン等農産物のPR強化 ▼申川鉱場産出の天然ガスの有効活用 ▼旧野石小学校、旧潟西中学校の空き校舎・跡地利用の検討
防災・防犯 まちづくり	▼防災・防犯まちづくり 地域コミュニティ強化による防犯対策
都市施設	▼八郎湖周辺クリーンセンターの適切な維持管理 ▼公共下水道の維持管理

コラム

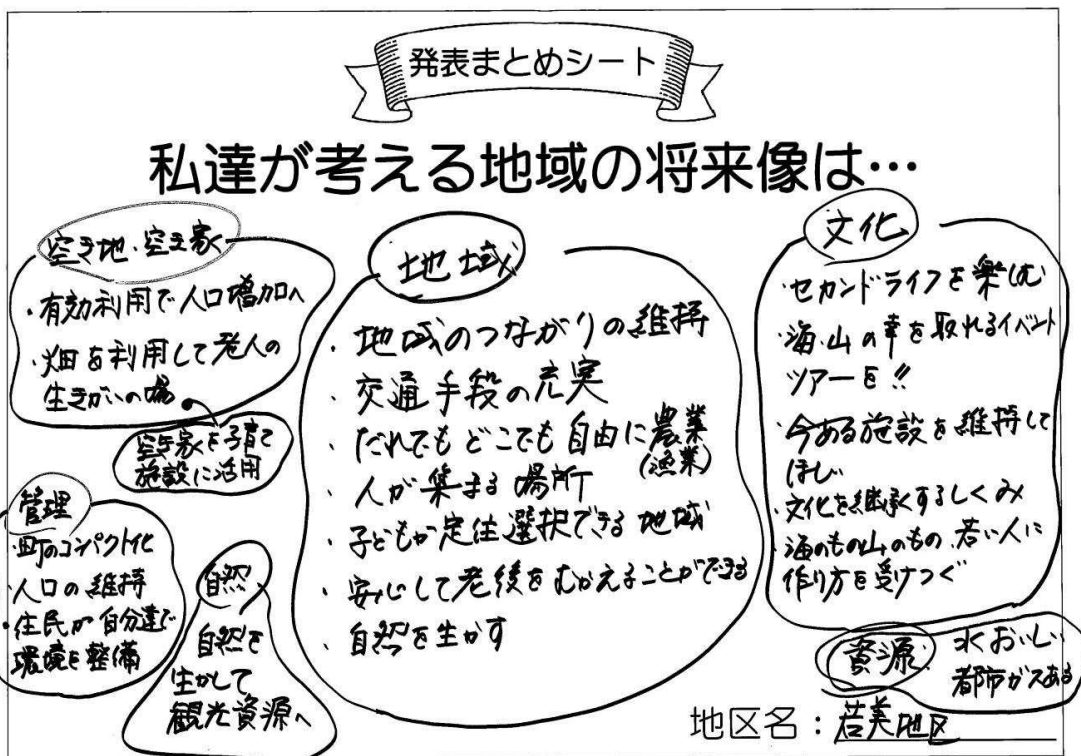
住民ワークショップから出されたご意見

< 1回目 >

山に海、山菜に海の幸と、自然と食べ物に恵まれ、近所の方々との関わりが強い地域です。

一方、人口減少や高齢化が進行し、学校の廃校による不安、コミュニティが離れていることによる寂しさ、空き家・空き地、敷地からはみ出す草木の管理などが課題として挙げられました。

空き家の有効活用やなまはげ衣装づくりの伝統の継承、集落のあり方、田畑の共同管理などによる、コンパクトなまちづくりが求められています。



< 2回目 >

私たちがわかみを深掘りして、わかみを大好きになることから始める意識が大切である、という思いを込めて、『生かそうよ 若美の資源 ブランド化』という一句が詠まれました。



3) まちづくりの方針図

<共通項目>

- ・公共下水道の維持管理
- ・公共交通機関の充実
- ・公益施設の適切な維持管理、活用の検討
- ・住民の主体的な住環境の整備・維持
- ・空き家・空き地の情報発信の強化等の検討
- ・農業振興に資するPR強化
- ・空き校舎・跡地利用の検討

